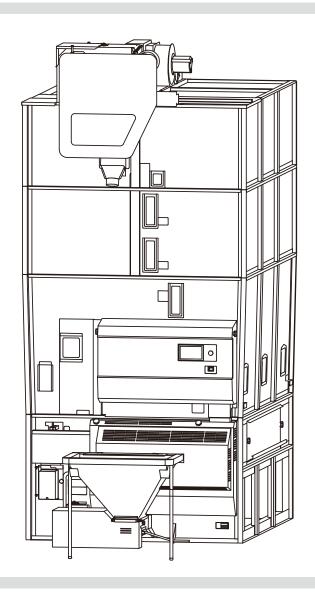


遠赤外線乾燥機

ロイヤルテンパー

RC25·30·35 取扱説明書



取扱説明書を良く読んで十分理解した上で機械を運転してください。 この説明書は無くさないように保管してください。 コントローラの操作につきましては、EL33操作説明書をご参照ください。

はじめに

この度は、当社米麦用乾燥機をお買い上げいただきありがとうございます。 常日頃、当社製品をご愛顧くださり心から厚く御礼申し上げます。

この説明書には、お買上げいただいた機械を最良の状態で使用していただく ための大切なことが書かれています。

よく読んでご理解いただき、皆様の手引きとして十分役立てていただくようお願いいたします。

ご愛用者の方々へのご注意

- 1. 乾燥機を使用する前に、この取扱説明書を十分お読みください。 この機械の操作及び点検手入れを行うときは、必ずこの取扱説明書に従ってください。
- 2. この機械の取り扱い上での危険について、すべての状況を予測することはできません。従って、取扱説明書の記載事項や機械に表示してある注意事項はすべての危険を想定しているわけではありませんので、機械の操作または日常点検を行う場合は、この取扱説明書の記載、本機に表示されている事項に限らず安全対策に関しては十分な配慮をしてください。
- 3. この取扱説明書に従わなかったために、あるいは誤使用や改造がなされたために発生した損害や事故については、弊社は責任を負いかねますのであかじめご了承ください。
- 4. 製品の開発、改良のために常に検討をしています。従って仕様など予告なく変更する場合があります。
- 5. この機械はもみ・小麦・大麦・ビール麦の穀粒乾燥用です。他の用途にはご使用にならないでください。

サービス保証について

製品は厳密な品質管理と検査を経てお届けしたものです。万一、正常なご使用方法において故障した場合には、お買上日より一年間無料で修理いたします。

- 1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きに従った使用により機械が保証期間内に故障した場合には、保証書をご持参ご呈示のうえお買上のお取引先に修理をご依頼ください。
- 2. 無料修理期間中でも次の場合は有料修理になります。
- ① 誤った使用方法、あるいは取り扱い上の不注意によって生じた損傷および 故障。
- ② 不当な修理や改造によって生じた損傷および故障。
- ③ 火災、風水害、地震、雷その他天災、公害、塩害、異常電圧などの外部要因 および変質灯油、不純灯油によって生じた損傷および故障。
- ④ 一度据付けた後の移動、落下によって生じた損傷および故障。
- ⑤ 弊社純正部品以外の使用、お取引先またはその指定サービス工場以外での修理による故障。
- ⑥ 保証書の紛失、保証書の記入事項または字句を勝手に訂正された場合。
- 3. 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- 4. 補修用部品供給年限について

この製品の補修部品の供給年限(期間)は、製造打ち切り後12年といたします。

但し、供給年限内であっても特殊部品については納期などご相談させていただく場合もあります。

5. 補修部品の供給は原則的には、上記の供給年限で終了いたしますが、供給年限経過後であっても部品供給のご要請があった場合には、納期及び価格についてご相談させていただきます。

サービス保証について

製造番号

乾燥機の製造番号は下の欄に記録してください。 最寄りのお取引先に修理を依頼したり、部品を 注文される場合にはこの製造番号を必ず一緒に ご連絡ください。

製造番号

納入年月日

保証期間

乾燥機型式
所有者またはオペレータの氏名
最寄りの弊社営業所の所在地、電話番号
営業所名
所在地
電話番号

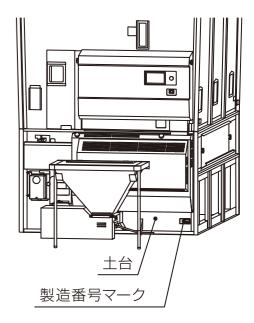
年

缶

月

月

 \Box



安全作業のために

安全に作業するための注意事項)

- 1. この取扱説明書は必ず付属のビニールケースに入れて本機に取り付けておいてください。本書を注意して熟読し、乾燥機の安全で正しい取り扱いを理解してください。
- 2. 操作や保守点検を行うとき、特に注意が必要な個所に貼り付けてあるマークの説明文をよく読んで安全を守ってください。(図1と P. WI、WI 「安全ラベルについて」参照)
- 3. 他の人に乾燥機を操作させる場合は、この取扱説明書を熟読させ必ず安全上の操作方法を説明してから行ってください。



(作業する人の安全について)

- 次のような人は、運転をしないでください。
 ①疲労、病気、薬物の影響、その他の理由により正常な運転のできない人。
 - ②酒気を帯びた人、子供、未熟練者。
- 2. 作業する人は作業着、帽子、手袋、安全靴などを着用し、機械に巻き込まれないように服装を整えてから点検、作業を行ってください。(図2)
- 3. 高所作業は大変危険ですので、絶対に行わないでください。やむを得ず作業を行わなければならない時は、お取引先又はお近くの弊社営業所へ依頼してください。
- 4. 作業場の換気を良くして作業を行ってください。



乾燥機始動前の安全について)

- 1. 乾燥機の運転操作をする前に、周囲の安全をよく確かめ、声で合図してからスイッチを入れてください。
- 2. 共同作業するときは、お互い合図を交わし安全作業を行ってください。
- 3. 子供を本機の付近で遊ばせないでください。

運転中の安全について

- 1. 安全カバーを必ず所定の位置に取り付けてから運転を行ってください。
 - 各カバー類は運転中に外さないでください。 また、掃除口や点検窓には絶対に手を入れ ないでください。
 - 穀物を張り込むときには、危険ですのでホッパの奥に手を入れないでください。
- 2. 乾燥運転直後は、機械の近くから離れないでください。
 - バーナの燃焼、穀物の循環状態が正常かどう か確認してください。
- 3. 作業前・後には機械の点検を行ってください。 機械の点検を行う時には、電源を切り、電源 プラグを抜いてください。

安全作業のために

火災を起こさないための注意事項

- 1.乾燥機の周りは常に掃除や点検をして、燃えやすいものを置かないでください。
- 2.燃料の安全な取り扱い方

燃料 (灯油) は、引火性がありますので取り扱いには十分注意をしてください。

燃料タンクへの給油または、燃料系統の保守・点検を行う場合、喫煙、裸火などは絶対避けてください。

ドラム缶から直接給油しないでください。 消防法で禁止されています。

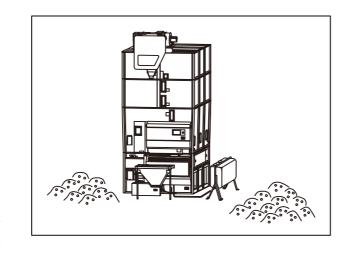
こぼれた燃料は必ず拭き取ってください。

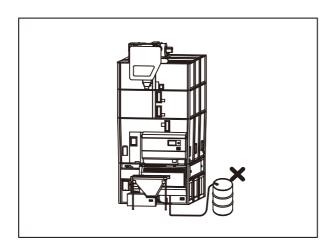
燃料系統から灯油が漏れていないか運転前に必ず点検してください。漏れている場合は 運転をせず最寄りのお取引先に依頼してく ださい。

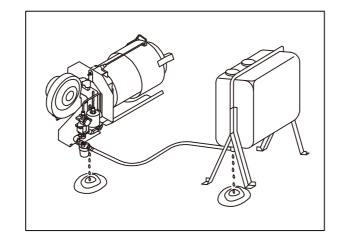
給油時は運転を停止し、電源プラグを抜いて ください。

3.消火器を乾燥機の付近に設置してください。 消火器はABC粉末消火器とし、有効期限内 のものを使用してください。

又、使用方法や取扱上の注意事項については 表示ラベルを良く読んでください。







安全ラベルについて

安全ラベルの取り扱い

- ●乾燥機には安全ラベルが貼ってあります。ラベルはすべてよく読み、理解するようにお願い いたします。
- ●ラベルの内容は特に重要と考えられる取り扱い上の注意事項について次のように表示して います。

↑ 危険 …… 守らないと死傷することがある操作手順や状況です。

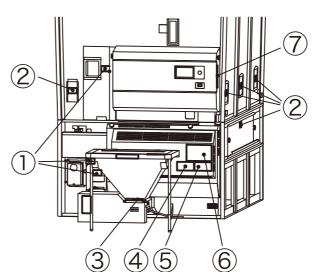
● 警告 ·············· 守らないと**死傷**するおそれがある操作手順や状況です。

/ 注意 …………… 守らないと**けが**をすることがある操作手順や状況です。

22172101009

- ●いつも汚れを取り、危険・警告・注意等のマークがはっきりと見えるようにしてください。
- ●安全ラベルが損傷したら新しいものと交換してください。なお交換したときは、前と同じ位 置に貼ってください。

安全ラベルの貼付位置







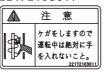




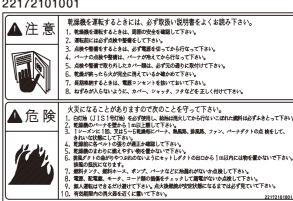




3品番22172103011

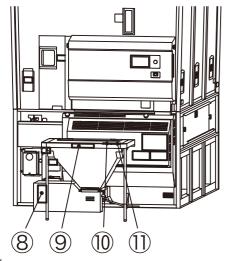


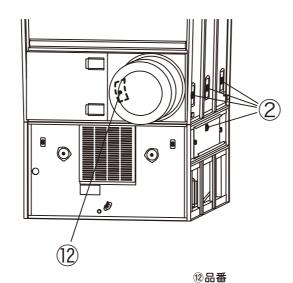
⑥品番 22172101001



安全ラベルについて

(安全ラベルの貼付位置)





⑧品番22172101008

注意

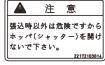
運転中にカバーを開けると、回転しているベルトに接触し、ケガをするおそれがありはないで下さい。

⑨品番 22172101014



回転部に接触し、ケガをする おそれがありますのでホッパ の奥に手を入れないで下さい。

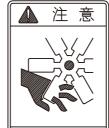
⑩品番 22172103014



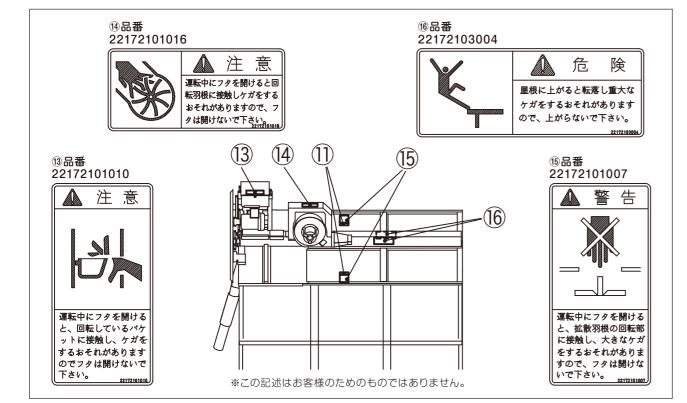
⑪品番 22172101018



22172101012



プロペラの回転部に接触し、ケガをするおそれがありますので、排 風ダクトをつけて運転 して下さい。



- WI −

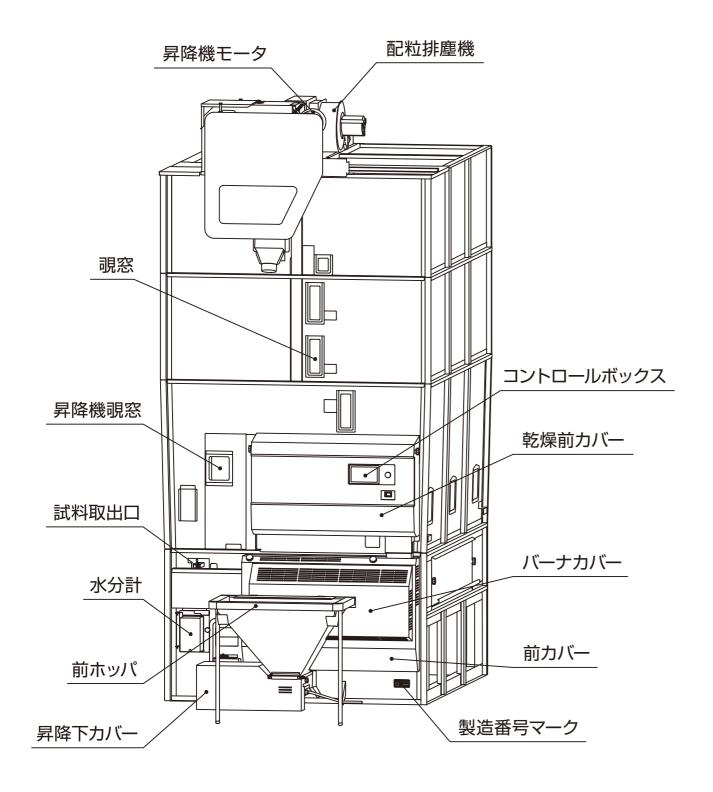
目 次

はじめに	
ご愛用者の方々へのご注意	Ι
サービス保証について	\prod
製造番号	${\rm I\hspace{1em}I}$
安全作業のために	IV
安全に作業するための注意事項	IV
作業する人の安全について	IV
乾燥機始動前の安全について	V
運転中の安全について	V
火災を起こさないための注意事項	VI
	VI
目次	
各部の名称とはたらき	1
各部の名称	1
内部構造と働き	3
安全装置の名称と働き	4
運転前の準備と確認	6
	8
	11
	16
	17
	19
	20

各部の名称とはたらき

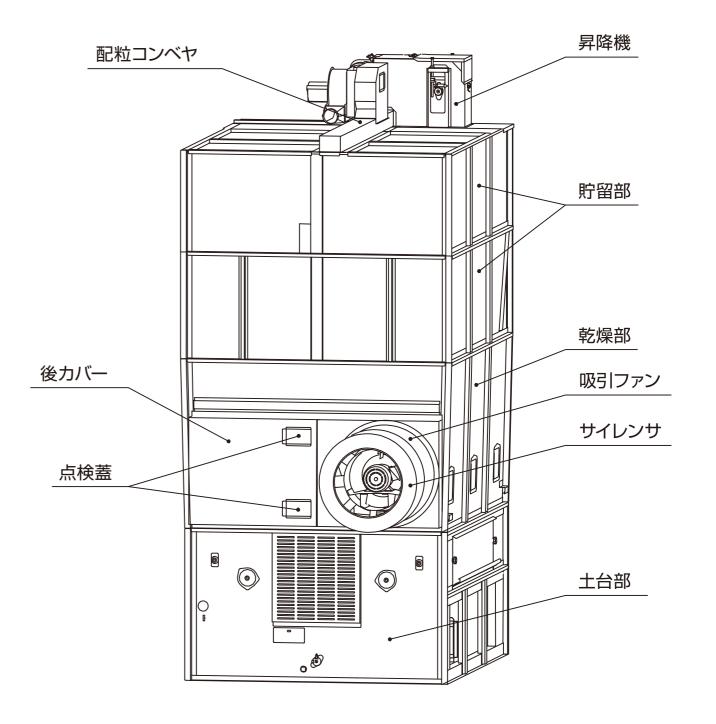
各部の名称

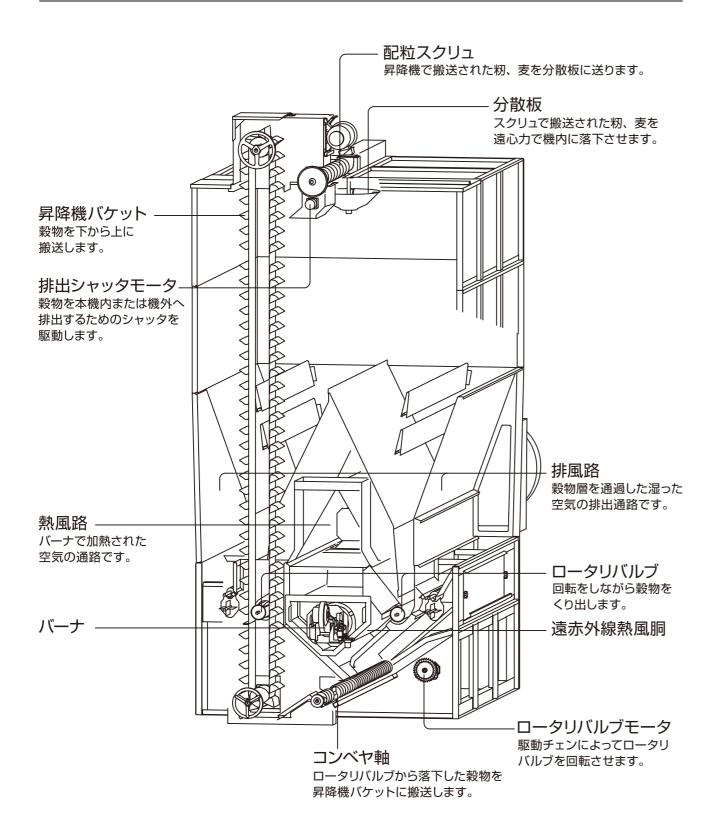
25型 前面

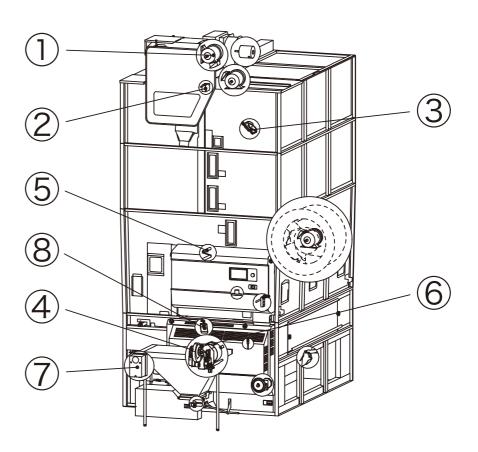


各部の名称

25型 後面







①昇降機モータ

昇降機平ベルトと配粒・下部コンベヤスクリュを 駆動します。過負荷の場合は、画面に過負荷内 容を表示し、本機が全停止します。

②排出シャッタスイッチ

運転開始時に排出シャッタが「開」になっている 場合は、運転できません。異常の場合は、画面 に異常内容を表示します。

③満量センサ

ホッパから張り込まれた籾が最大張込量になると、画面に「満量」表示とブザーで知らせます。 また、本機が全停止します。

④ バーナモータ

バーナモータが異常になった場合、バーナを消火 します。異常の場合は、画面に異常内容を表示し、 循環通風状態になります。

⑤ 熱風センサ

乾燥運転中、熱風温度を検知します。センサが 断線またはショートした場合は、画面に異常内容 を表示します。

バーナの燃焼は、最少になります。

バーナが異常高温になった場合、バーナを消火します。異常の場合は、画面に異常内容を表示し、 循環通風状態になります。

⑥ フレームロッド

バーナの燃焼状態を検出し、火が消えた際、ポンプを停止し、燃料の流出を防止します。 異常の場合は、画面に異常内容を表示し、循環

通風状態になります。

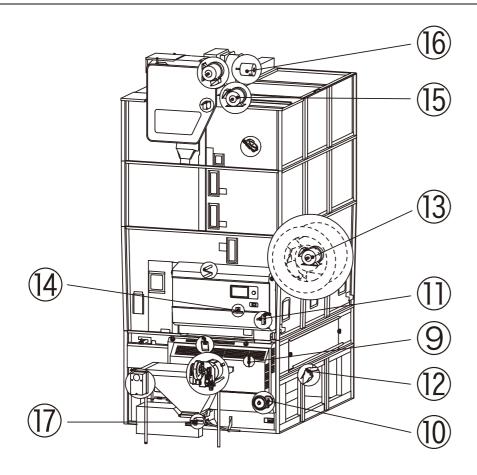
⑦水分計

穀粒を1粒ずつ取り込み、平均水分値、水分のばらつきを計測します。

水分計に異常があった場合は、画面に異常内容 を表示し、循環通風状態になります。

⑧風圧スイッチ

風量が異常に減少した場合に、バーナを消火します。異常の場合は、画面に異常内容を表示し、 循環通風状態になります。



9 外気温センサ

外気温度を検知し、標準温度を設定します。 センサが断線またはショートした場合は、画面に 異常内容を表示し、バーナの燃焼は最少になり ます。

⑩ ロータリバルブモータ

ロータリバルブに無理な負荷がかかった場合本 機が全停止します。また、画面に過負荷内容を 表示します。

⑪穀温センサ

穀物の温度を常に監視し、コントロールします。 センサが断線またはショートした場合は画面に異 常内容を表示します。

また、バーナの燃焼は、最少になります。

⑫ 搬送センサ

下部コンベヤ部に穀物が停滞した場合に作動し、本機が全停止します。

異常の場合は、画面に異常内容を表示します。

③ 吸引ファンモータ

吸引ファンモータが過負荷になった場合に、本機 を全停止します。異常の場合は、画面に異常内 容を表示します。

⑭ 感震センサ

大きな揺れを感知した場合に、本機が全停止します。異常の場合は、画面に異常内容を表示します。

⑤ スロワモータ

排出用スロワを駆動します。異常の場合は、画面に異常内容を表示し、本機が全停止します。

⑯ 排塵機モータ

排塵機モータが過負荷になった場合に、本機を 全停止します。異常の場合は、画面に異常内容 を表示します。また、吸引ファンモータが同時に 回転している場合は、吸引ファンモータのみ回転 した状態になります。

⑦回転センサ

下部コンベア軸の回転が低下した場合に作動し、 本機を全停止します。異常の場合は、画面に異 常内容を表示します。吸引ファンモータが同時に 回転している場合は、吸引ファンモータのみ回転 した状態になります。

運転前の準備と確認

設置場所

機械の据付場所はコンクリート床の水平な所で機械と穀物の荷重に長期間耐えられる十分な 強度があることを確認してください。

機械の周囲には2mの空間を確保してください。

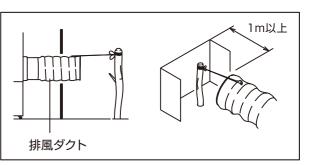
排風ダクト、配粒排塵機の接続

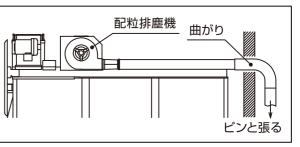
排風ダクトを通す穴は大きく開けてください。 ダクトは風が抵抗にならないようにピンと張っ てください。

逆風で吹き込むようなときは風よけを排風ダクトから1m以上離して設けてください。

配粒排塵機のダクトの曲がりはできるだけ少なくしてください。

曲がり部分は鉄板筒等を使用し、ダクトがつぶれないようにしてください。





電源の確認

本機の電源は、漏電ブレーカの付いた電源から取り、必ずアースを取り付けてください。(地面から50cm以上埋設してください。)

コード類は電気用品安全法による適合マーク (PSE) のある製品を使用し、また、同法の内線 規定に準拠してください。延長コードは線径 2.0mm²以上全長7m以内で使用してください。

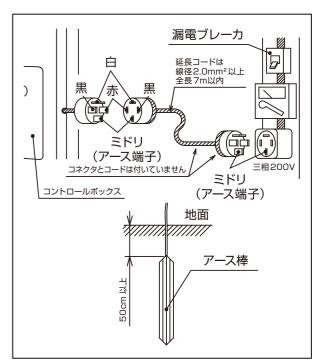
各差し込みコネクタが所定の場所に確実に差 し込まれていることを確かめてください。

2kw以上の電力契約が必要です。

損傷したコネクタやコード類は使用しないでください。

· <u>(1)</u> 注 意

本機は三相200V仕様ですので指定以外の電源 電圧での運転は絶対に行わないでください。



設置及び移動する場合は、お取引先に依頼してください。

-5

燃料の準備と点検

燃料タンクには<u>必ず白灯油 (JIS 1号灯油) を</u>入れてください。

燃料タンクはオプションです。

- 🗘 危 険

火気には十分注意してください。給油は機械を 停止し電源プラグを抜いてから行い、こぼれた 灯油は必ず拭き取ってください。

- ●汚れた灯油や、水の混じっている灯油などを使用すると異常燃焼しますので絶対に使用しないでください。
- ●燃料タンク底部には水が溜まりますので必ず水 抜きをしてください。(9ページ参照)
- ●ホームタンクから直接配管する場合は、ホーム タンク近くにストレーナを取り付けてください。 ストレーナがない場合、不純物がバーナ内に混 入し、燃焼状態が変化する場合があります。

給油ホースのエアー抜きは、前ホッパ及び前カバーを外してから、バーナ側の接続口をスパナで外しホース先端を指で押さえ、燃料タンクのコックを開きます。

受皿の上で指を離し先端から灯油が出てきたら指で押さえコックを閉じます。

接続口をすばやくバーナに接続します。

受皿は必ず用意してください。

次に燃料タンクのコックを開き、バーナストレーナ上部のネジをゆるめてエアー抜きを行ってください。

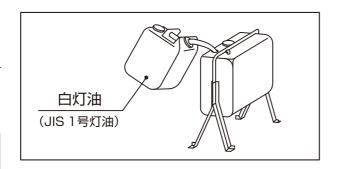
この時、燃料タンクの灯油は満タンにするようにしてください。

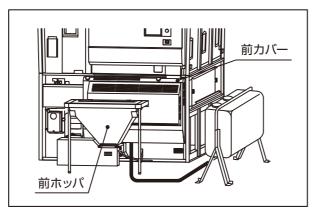
- / 危険

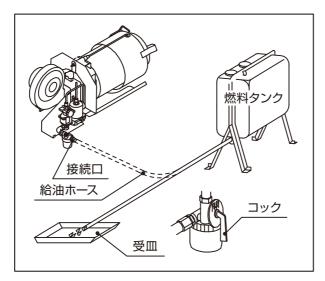
エアー抜きの際のこぼれた灯油は必ずきれいに 拭き取ってください。

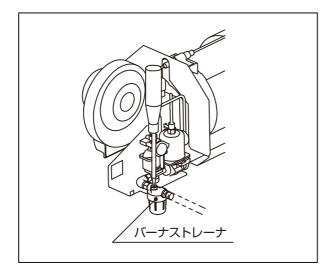
前カバー及び前ホッパを元の位置に取り付けて固定してください。

準備作業はお取引先に依頼してください。









※試運転の順序等コントローラの操作につきましては、別冊子をご参照ください。

各部の調節と点検

企危険

点検整備をする際は、必ず本機を停止して電源 プラグを抜いてから行ってください。

①昇降機平ベルトの緊張と調整

昇降機軸受鉄板の案内枠に隙間がある場合は、昇降機平ベルトがゆるんでいるため、緊張する必要があります。(右図参照)

ゆるんだままで運転すると、昇降機モータ過 負荷あるいは、回転センサ異常、搬送センサ 異常を表示して乾燥機が停止する場合があり ます。

(平ベルトを緊張する作業は高所作業になるため、お取引先に依頼してください。)

緊張の際は、平ベルトの片寄りが無いように調節してください。

昇降機平ベルト緊張方法

平ベルト緊張ネジ	平ベルト
右回し	張る
左回し	ゆるむ

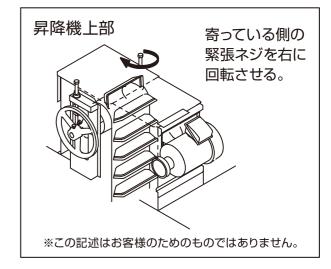
危 険

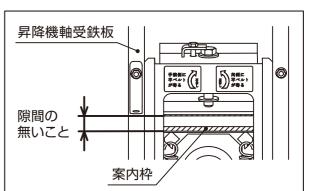
屋根に上がると転落し、重大なケガをする恐れがありますので上がらないでください。 高所作業は、お取引先に依頼してください。

②昇降機バケットの点検

昇降機バケットが摩耗すると穀物の搬送量が減り、詰まりの原因になります。摩耗したバケットは交換する必要があります。

昇降機覗窓から確認してください。 (摩耗した場合は、お取引先に依頼してください。)



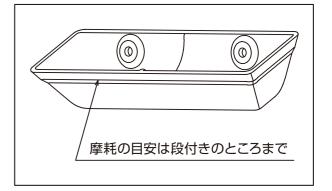


昇降機軸受鉄板の案内枠に隙間がある場合は、 昇降機平ベルトがゆるんでいます。

上部の平ベルト緊張ネジを回して、緊張してください。緊張の目安は、案内枠の隙間が無くなってから5回転くらい平ベルト緊張ネジを回してください。

<交換の目安>

-8-



-7-

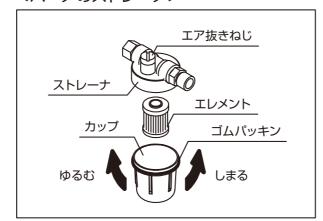
③バーナストレーナの掃除

カップ内には、水やごみが溜まりますので作業前には点検し、掃除してください。

- (1) 燃料タンクのコックを閉めます。
- (2) ストレーナからカップを外し、水やごみを取り除きます。
- (3) エレメントを外し、きれいな灯油で洗浄してください。
- (4) 掃除後はエレメントを取り付け、カップをストレーナに取り付けます。

ストレーナの下には灯油の受皿を用意してこぼれた灯油は、必ず拭き取ってください。

<バーナのストレーナ>

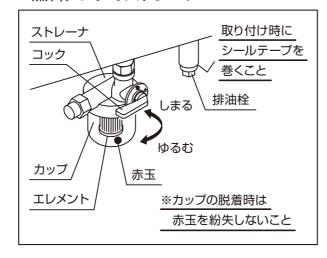


④燃料タンクストレーナの掃除と水抜き

燃料タンクストレーナもバーナストレーナと同様に掃除してください。燃料タンク内の水抜きは排油栓を外して行ってください。

(排油栓の取り付け時、シールテープを巻いて 灯油が漏れないようにしてください。)

<燃料タンクのストレーナ>



⑤配管の油もれ点検

異常があった場合、お取引先に依頼してください。

⑥配線コードの被覆はがれの有無の確認

異常があった場合、お取引先に依頼してください。

汚れた灯油や水の混じっている灯油などは、バーナの電磁ポンプの故障に繋がりますので、 絶対に使用しないでください。

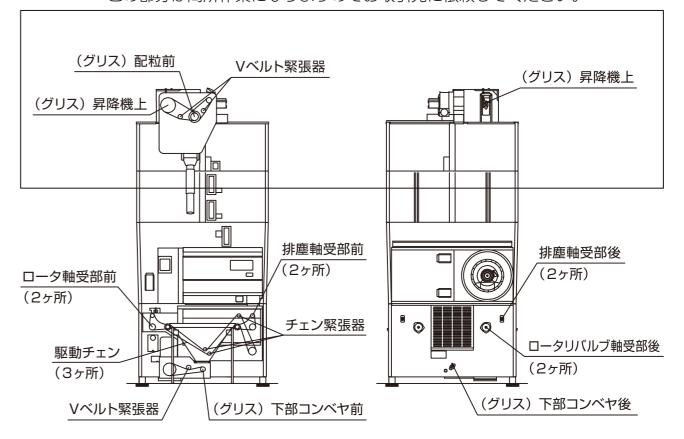
各部の調節と点検

「潤滑油・グリスの注油箇所と注油時期」

作業の途中、又はシーズンが終了した場合、下記の箇所に潤滑油及びグリスを注油してください。

<注油箇所>

この部分は高所作業になりますのでお取引先に依頼してください。



<注油時期>

作付面積	2ヘクタール以下	2ヘクタール以上
単作	年1回	年2回
二毛作	年2回	年3回

保守管理

■作業の途中、又はシーズンが終了した場合、次の順序で各部の掃除を行ってください。

- 🕂 危 険

- ●乾燥機を運転させての掃除、点検調整は行わないでください。
- ●掃除をする際は必ず本機を停止して、電源プラグを抜いてから行ってください。
- ●屋根に上がると転落し、重大なケガをする恐れがありますので上がらないでください。
- ●高所作業は、お取引先に依頼してください。

(掃除の手順

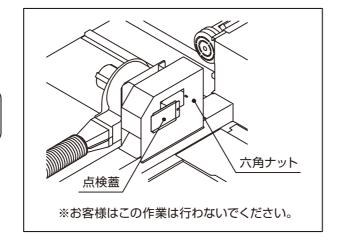
掃除は乾燥機の上から順番に行います。

下記の①②の作業は高所作業になりますので、お客様が行わず、お取引先に依頼してください。

①配粒排塵機の掃除

六角ナット及び**点検蓋**を外して、内側のワラクズやホコリを取り除いてください。

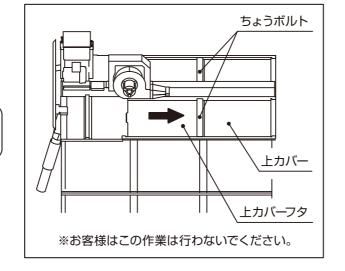
掃除後は、必ず点検蓋を元の位置に取り付けて固定してください。



②乾燥機内部の掃除

ちょうボルトを外し、**上カバーフタ**を横に開いて内部に引っかかっているワラクズ等を取り除いてください。

掃除後は、必ず上カバーフタを元の位置に 取り付けて固定してください。



保守管理

③残留穀物の回収

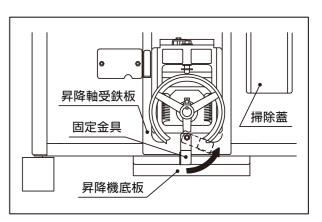
前ホッパ及びカバー類を外します。

- ●ノブナット及び前ホッパ固定板を外し、**前** ホッパを手前に引いて外します。
- **●バーナカバー**を上に持ち上げ、外します。
- ●ノブボルトを外して、**前カバー**を外します。
- ●ノブナットをゆるめ、差し込みピン部を上に 持ち上げ、**昇降下カバー**を外します。

カガバー 前ホッパ 差し込みピン部 「前ホッパ固定板 ノブナット

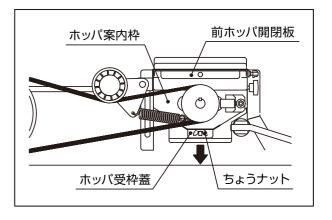
(1) 昇降機底板の残留穀物の回収

- ●昇降軸受鉄板下の固定金具を矢印の方向に 回転させ、**昇降機底板**を手前に引き出します。
- ●掃除蓋を外して内部の残留穀物を下に落と して回収します。



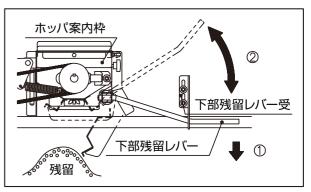
(2) ホッパ案内枠の残留穀物の回収

- ●ホッパ案内枠下のちょうナットを外し、矢印 の方向に**ホッパ受枠蓋**を外します。
- ●前ホッパ開閉板を開け、内部の残留穀物を下 に落として回収します。



(3) 下部コンベヤの残留穀物の回収

- ●下部残留レバーを、①下部残留レバー受から 外し、②矢印のように動かし、残留穀物を下 に落とします。
- ●元に戻す際は、落とした残留穀物を底板で、 すくい上げないように注意してください。



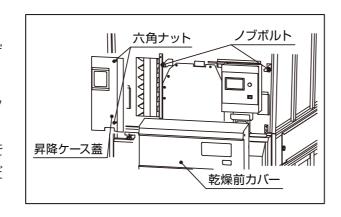
危険

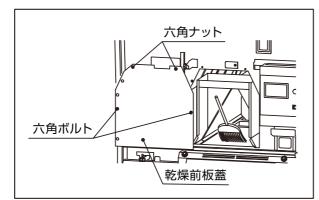
残留穀物の回収及び掃除後の蓋、レバー等は、必ず元の位置に取り付けて固定してください。 忘れると、本体の故障やケガをする恐れがあります。

④熱風路内の掃除

- ●ノブボルトを外し、**乾燥前カバー**を持ち上げて取り外します。
- ●昇降ケース蓋を止めている六角ナットを外し 昇降ケース蓋を取り外します。
- ●六角ボルト、ナットを外し、**乾燥前板蓋**を取り外して、内部をほうき等で掃除してください。

掃除後は、必ず蓋、カバーを元の位置に取り付けて固定してください。

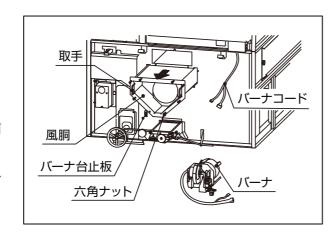




⑤遠赤外線熱風胴の掃除

- **●バーナコード**を外します。
- ●六角ナットを外し、**バーナ台止板**を外して バーナを手前に引き出して外します。
- ●六角ナットを外し、取手を掴み、**風胴**を手前に引き抜きます。
- ※風胴は重いため、引き抜く際は手前側に受台等を用意してください。
- ■風胴及び風胴内を掃除してください。

掃除後は、必ず風胴、コードを元の位置に 取り付けて固定してください。



- / 危険

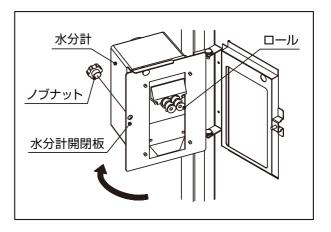
掃除後の蓋、カバー、コード等は、必ず元の位置に取り付けて固定してください。 忘れると、乾燥性能の低下やケガをする恐れがあります。

保守管理

⑥水分計の掃除

- ●ノブナットを外し、**水分計開閉板**を開きます。
- ●水分計本体やロール部分に付着したワラクズ やホコリを取り除いてください。
- ●水分計を軽くたたき、内部に残った穀物を 取り除いてください。
- ※内部の穀物をそのままにしておくと、カビや 虫が発生する恐れがあります。

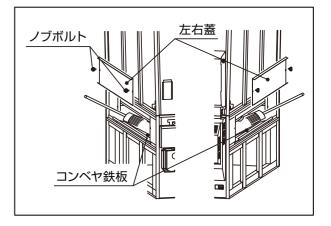
掃除後は、必ず水分計開閉板を元の位置に 戻し固定してください。



⑦コンベヤ鉄板内の掃除

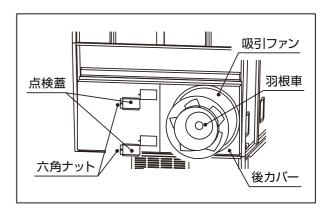
- ●土台部の両側面にある、ノブボルトを外し **左右蓋**を取り外します。
- ●コンベヤ鉄板内の残留穀物やホコリをほうき 等で払い落としてください。

掃除後は、必ず左右蓋を元の位置に取り付けて固定してください。



⑧吸引ファンの掃除

- ●吸引ファンのダクトを外し、羽根車についた ワラクズやホコリを取り除いてください。特に 羽根車の内側のホコリを取り除いてください。
- ※ホコリ等が付着していると羽根車が振動し、 吸引ファンの破損の原因になります。
- ●六角ナットを外し、後カバーの**点検蓋**を取り 外して内側のゴミを取り除いてください。



掃除後は、必ず点検蓋を元の位置に取り付けて固定してください。

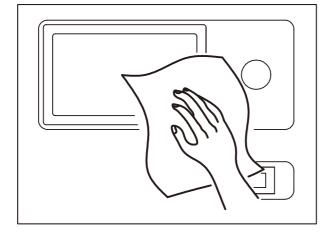
- /Î 危 険

残留穀物の回収及び掃除後の蓋、カバー等は、必ず元の位置に取り付けて固定してください。 忘れると、乾燥性能の低下やケガをする恐れがあります。

保守管理

⑨液晶タッチパネルの掃除

- ●液晶タッチパネルについた汚れやホコリを 柔らかいきれいな布で、軽く拭き取ってくだ さい。
- ●拭き取る際、水や洗剤などを直接使用しないでください。



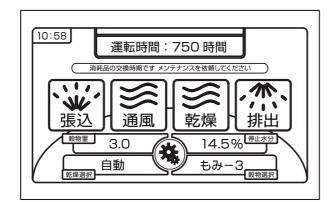
液晶タッチパネルをたたいたり、硬いものでこすらないでください。 変形や破損の原因になります。 ベンジン、シンナー、アルコールなどは使用しないでください。 変色や変形の原因になります。

(消耗品の交換)

運転時間が750時間を過ぎますと「消耗品の 交換時期です。メンテナンスを依頼してください」という表示がでます。

このような表示がでましたら、お取引先に消耗 品の交換を依頼してください。

(消耗品の詳細は20ページ「消耗部品·交換部品」を参照してください。)



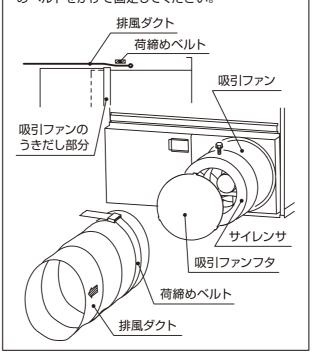
格納時の注意

■ネズミ侵入防止のためにフタを取り付けてください。また、各部のカバーは確実に取り付けてください。吸引ファンのフタは付属されています。

<吸引ファンのフタ>

排風ダクトを外して、吸引ファンフタを取り付けます。吸引ファンフタは、サイレンサを外して吸引ファンに直接取り付けることも出来ます。

又、吸引ファンフタを外して排風ダクトを取り付ける時は、吸引ファンの浮き出し部分より内側で荷締めベルトをかけて固定してください。



<配粒排塵機の出口>

配粒排塵機のビニールダクトを外して、吐出口先端をビニール等で覆い、紐で結わえてください。
配粒排塵機
ビニール

ビニールダクト

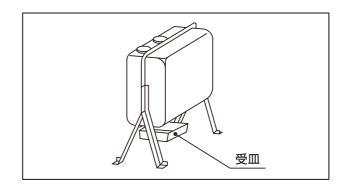
※この記述は、お客様のためのものではありません。

- / 危 険 -

屋根に上がると転落し、重大なケガをする恐れがありますので上がらないでください。 高所作業はお取引先に依頼してください。

■燃料タンクの格納

燃料タンク及び燃料ホース内の燃料を全て抜き、ストレーナを掃除し、燃料コックを閉めて格納してください。抜き取った燃料は主タンクへ戻してください。汚れた燃料は廃油として処理してください。(9ページ参照)



危 险

廃油の処理方法

- ・業者に委託して処理してください。
- ・地面、河川、湖沼等に投棄しないでください。

■電源コードの格納

電源コードは元から外しておいてください。電源コードを差し込んだまま長期間保管した場合、雷などの影響でコントロールボックスが損傷することがあります。

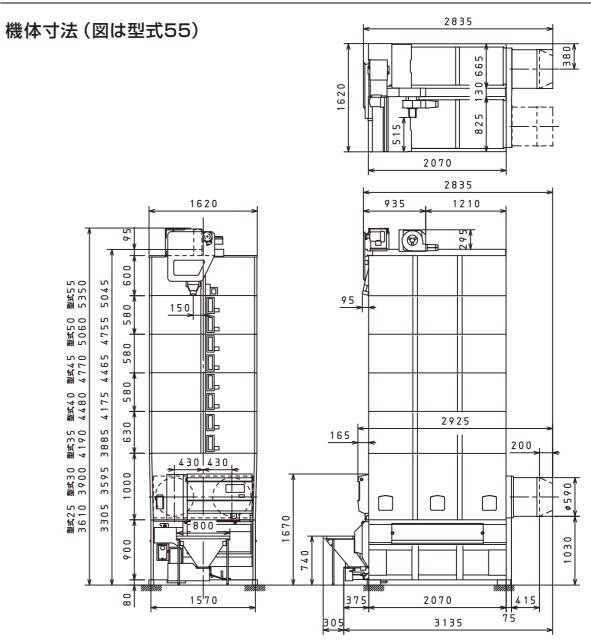
主要諸元・機体寸法

主要諸元

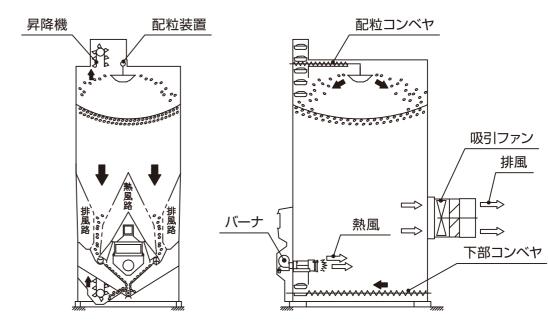
_									
則	克 売	型式名	大島RC25	大島RC30	大島RC35	大島RC40	大島RC45	大島RC50	大島RC55
穀と物温	籾 (Kg	g)(560Kg/m³)	650~2500	650~3000	650~3500	650~4000	650~4500	650~5000	650~5500
種量類	小麦 (k	(g)(680Kg/m³)	790~3040	790~3640	790~4250	790~4860	790~5460	790~6070	790~6680
機	全	長(mm)		3440					
機体寸法	全	幅 (mm)		1620					
法	全	高 (mm)	3610	3900	4190	4480	4770	5060	5350
機	体重量	量(重量)(Kg)	910	940	970	1000	1030	1060	1090
送	型	式 名		AG589-AS (50Hz) · AG589-BS (60Hz)					
送風機		類		軸流式					
饭	常用回	転速度 (rpm)		1460 (50Hz) ·1750 (60Hz)					
乾		方 式	-		遠赤外絲	泉放射体集穀室に	內設置型		
.	型	式 名				FCL2			
バ		類				ガンタイプ			
÷									
<u> </u>		量 (L/h) *1				1.65~7.0			
使		燃料		JIS 1号灯油					
燃		/ク容量 (L)				オプション			
	-	高 E (V)		三相200					
	l —	引ファン (KW)		0.71					
	ı —	降機(KW)	-	0.9					
所	ı∼⊢	リューコンベヤ (KW)							
要	I11∩∩ ├──	ントローラ (KW)		0.06					
動	$ \Psi $	ナ(KW)		0.015					
1		-タリバルブ (KW) 出シャッタ (KW)		0.06					
		ロンヤッタ (KW) 粒排塵機 (KW)		0.004					
	ı ⊢	松妍屋城 (KW) 売スロワ (KW)	+	0.1 0.9					
	-	・ 使用電力 (KW) **2			1 853 (ま) 2.028 (別売ご	7 口口使用法)		
		*3 粉(min)		12~16	14~18	16~20	18~23	20~25	23~28
	張込民	計問 小麦 (min)	14~18	17~21	19~23	21~25	23~27	25~30	28~33
性		*3 *1 (min)		19~24	22~27	25~30	28~33	30~35	32~37
	排出限	手間 小麦 (min)		17~22	20~25	23~28	25~30	28~33	30~35
能	<i>←</i> n+ + L \	** ⁴ 籾 (%/h)		0.8	~1.1		0.7	~1.0	0.6~0.9
	毎時乾湯	咸率 小麦 (%/h)		0.8	~1.1		0.6~0.9 0.5~0.8		
諸	安 :	全 装 置			ーータリバルブ・ス(きセンサ・回転セン				
装	運転	制御装置		熱」	 虱、穀温、乾燥逑	度、水分停止自	 動制御・タイマ(·····································	
置		標準装備品			計・前ホッパ・配				
	その他	別売部品			横付ファン・外付スロ				水分穀物対応部品
安	 全性検	 食査合格番号				申請予定			,, , , , , , , , , , , , , , ,
型		式 名	大島RC25	大島RC30	大島RC35	大島RC40	大島RC45	大島RC50	大島RC55

⁽注) ※1. 燃料消費量は、穀物条件、外気湿度条件、作業運転条件により数値が変化します。

この主要諸元は改良のため予告なく変更することがあります。



循環機構図



^{※2. 2}KW以上の電力契約が必要です。また、別売スロワを使用する場合、3KW以上の電力契約が必要です。

^{※3.} 張込、排出時間は、水分や夾雑物の混入度などにより数値が異なる場合があります。

^{※4.} 毎時乾減率は、初期水分により変化します。また、記載された数値は外気温20℃、湿度70%の環境下で最大張込時の数値です。 籾は初期水分24%から仕上水分14.5%、小麦は初期水分30%から仕上水分12.5%までの乾燥した際の平均値になります。

^{※5.} 上記は農業機械主要諸元記載要領に基づきます。

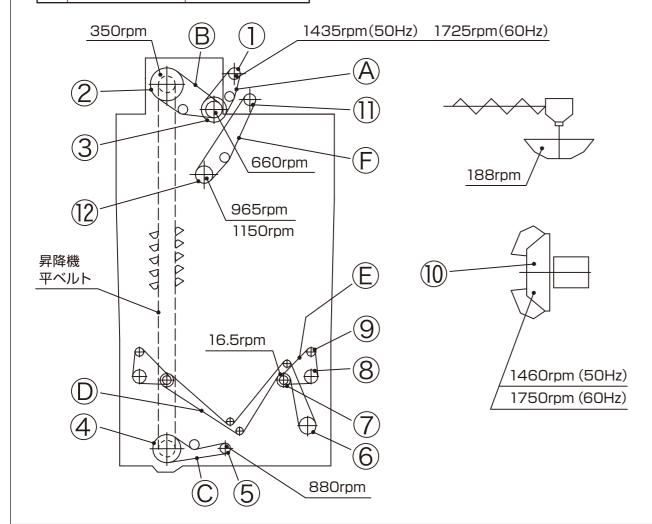
伝達機構図とベルト・プーリサイズ

プーリ・スプロケットサイズ

番号	名称	サイズ
1	昇降モータプーリ	A-φ85 (50Hz) A-φ70 (60Hz)
2	昇降機上プーリ	Α-φ220
3	配粒プーリ	A-φ180×φ120
4	昇降機下プーリ	Α-φ180
5	コンベヤプーリ	Α-φ75
6	ロータリバルブ 駆動スプロケット	N-33×26 (50Hz·60Hz)
7	ロータリバルブ スプロケット	N-24×15
8	ロータスプロケット	N-24
9	排塵スプロケット	N-14
10	吸引ファン	N-5 (50Hz) N-3 (60Hz)
11	スロワモータプーリ	A-φ85 (50Hz) A-φ70 (60Hz)
12	スロワプーリ	A-φ124×φ105

ベルト・チェンサイズ

番号	名称	サイズ
А	配粒Vベルト	SA-39 (レッド) (50Hz) SA-38 (レッド) (60Hz)
В	昇降機Vベルト	SA-52 (レッド)
С	コンベヤVベルト	SA-48 (レッド)
D	チ ェ ン	#410×P284
Е	チ ェ ン	#410×P58
F	スロワVベルト	SA-62 (レッド) (50Hz) SA-61 (レッド) (60Hz)



消耗部品・交換部品

下記部品は消耗品となっています。点検時、消耗が激しい場合は交換が必要です。お取引先に交換を依頼してください。

No	部品名	コード番号	個数	交換の目安	備考
1	ロータリシャッタC (組)	557A0256000	1	750時間	シャッタゴムを含む
2	ロータリシャッタD (組)	557A0258000	1	750時間	シャッタゴム左を含む
3	シャッタ軸受(組)	554A0246000	2	750時間	オイルレス 22121152119 組込
4	シャッタ受鉄板E (組)	559A0290000	2	1000時間	転がり軸受 #6205UU 組込
5	コンベヤ軸	582A0041000	1	750時間	
6	排塵軸右	557A2320000	1	1000時間	
7	排塵軸左	557A2321000	1	1000時間	
8	ロータ排塵軸受前(組)	559A0240000	2	750時間	オイルレス 22121152119 組込
9	除塵軸受後(組)	557A0290000	2	750時間	オイルレス 22121152119 組込
10	ロータウレタン	557Z0056000	4	750時間	ロータ軸に組込
11	スプロケット13	22901040058	3	750時間	チェン緊張座、チェン固定緊張座に組込
12	ホッパ受枠蓋	582A0053000	1	750時間	ホッパ案内枠に組込
13	中玉上カバー	582A0062000	1	750時間	昇降軸受に組込
14	昇降機底板(組)	557A0346000	1	750時間	土台部に組込
15	燃焼筒(組)	559A0551000	1	750時間	
16	断熱板	559A0555000	1	750時間	燃焼筒に組込
17	フレームロッド	557Z0057000	1	750時間	燃焼筒に組込
18	比例弁ユニット	29901060087	1	750時間	バーナ FCL2に組込
19	昇降機平ベルト25 (組)	582Z0010000	1	750時間	バケット付
20	昇降機平ベルト30(組)	582Z0012000	1	750時間	バケット付
21	昇降機平ベルト35L(組)	570Z0057000	1	750時間	バケット付
22	昇降機平ベルト40L(組)	570Z0055000	1	750時間	バケット付
23	昇降機平ベルト45L(組)	570Z0053000	1	750時間	バケット付
24	昇降機平ベルト50L(組)	570Z0051000	1	750時間	バケット付
25	昇降機平ベルト550(組)	574Z0051000	1	750時間	バケット付
26	バケット190N BK-190N	22082200190	75~114	750時間	
27	バケット190N 白色	22082300190	1	750時間	
28	配粒軸	582D0011000	1	750時間	
29	分散板(組)	555D0016000	1	750時間	分散メタル付
30	転がり軸受 #6004U	08013060041	4	750時間	コンベヤ軸前側、昇降投口前後に組込
31	転がり軸受 #6203U	08014062031	2	750時間	コンベヤ軸後側、配粒軸前に組込
32	転がり軸受 #6004UU	08013060042	8	750時間	分散ケース、中玉上カバーに組込
33	転がり軸受 #6205UU	08014062052	2	1000時間	シャッタ受鉄板Eに組込
34	Vベルト SA-52(レッド)	09112220052	1	750時間	昇降機 Vベルト
35	Vベルト SA-48(レッド)	09112220048	1	750時間	コンベヤ Vベルト
36	Vベルト SA-39(レッド)	09112220039	1	750時間	配粒 Vベルト 50Hz地区に使用
37	Vベルト SA-38(レッド)	09112220038	1	750時間	配粒 Vベルト 60Hz地区に使用
38	隙止シート	551Z0046000	2	750時間	籾案内枠に組込
39	胴除塵板	551Q0013000	1	750時間	胴除塵板止金具に組込
40	ポリエチレンダクト	29901040166	1		φ105×6000
41	ビニールダクト	29901050181	1		φ90×1700
42	ビニールダクト	29901040060	1		φ90×300
43	排風ダクト	29901040032	1		φ600×3000

注)上記部品の耐久時間は、地域、籾の品種・条件、使用条件により異なる場合があります。

MEMO

液晶コントロールボックス

EL33 操作説明書



取扱説明書をよく読んで十分理解した上で機械を運転してください。 この説明書は無くさないように保管してください。

目 次

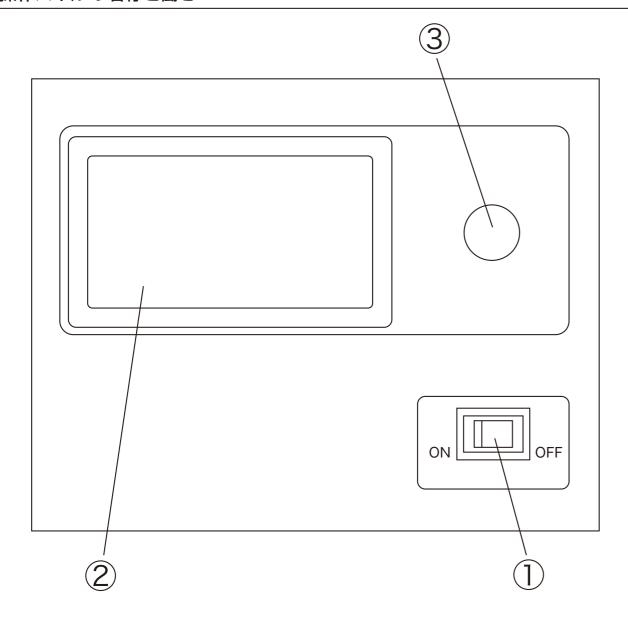
各部の名称と表示画面	1
操作パネルの名称と働き	1
基本画面名称と操作	2
1.電源スイッチON時	2
2.作業選択画面	3
3.基本設定画面	4
4.パネル設定画面	5
4-1.明るさ選択画面	5
4-2.スクリーンセーバー設定画面	6
4-3. 時刻設定画面	7
5.設定温度/穀物量画面	8
6.乾燥選択画面	9
7.停止水分設定画面	10
8. 穀物選択画面	11
9.休止時間設定画面	12
10.運転時間設定画面	12
11.乾燥速度制御画面	13
基本運転操作	14
試運転の順序	14
1.始業点検	14
2.運転操作	14
張込運転 ·····	16
1.運転操作	16
2. 張込中の水分測定	17
3.張込時の注意	19
4.穀物の張込状態	20
循環通風運転 ······	21
1.運転操作	21
2.通風運転のみ行う方法	23
自動乾燥運転	24
1.運転操作	24
2.乾燥状態画面	
3.水分分布画面	
4. 機內水分画面	28
5.水分移行データ画面	29
6 試料の取り出し方法	29

目 次

基本運転操作	
イチおし乾燥運転 ······	31
1.運転操作	31
二段乾燥運転	34
1.運転操作	34
プログラム乾燥運転	38
1.運転操作	38
タイマー乾燥運転	43
1.運転操作	43
麦の乾燥について	46
1.小麦 (大麦) 乾燥時の運転操作	46
2.ビール麦 (種麦) 乾燥時の運転操作	49
水分値の確認と補正方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	52
1.もみの場合	52
2.麦の場合	53
上手な乾燥方法	54
排出運転 ·····	56
1.作業前の確認	56
2.運転操作	56
吐力率 北党庁よる大法 庁馬吐る佐根大法	- 7
一時中断·非常停止の方法 停電時の復帰方法 ····································	57
一時中断の方法	57
1.再乾燥の方法	57
非常停止の方法	57
停電時の復帰方法	5/
保守管理 ······	۵.
–	
消耗品の交換アナウンス	58
田 ヴ 味 の エー 名 恵 王 吉 二 <i>[</i>]	ΕO
異常時のモニタ画面表示例	59
安全装置配置箇所 ····································	61
女主表直癿直固剂 ************************************	O I
こんな時どうする (故障とその処置)	62
1.電装品 モータ関係	
2.電源関係	
3.バーナ関係	
	64
4.乾燥関係	

各部の名称と表示画面

操作パネルの名称と働き



- ①電源スイッチボックスの電源を「ON」「OFF」します。非常停止の電源切断も同様です。
- ②液晶タッチパネル画面 運転状態のデータや操作を、画面にタッチすることで行います。
- ③ダイヤル 回すことで各機能の設定や数値を変化させることができます。

1.電源スイッチON時



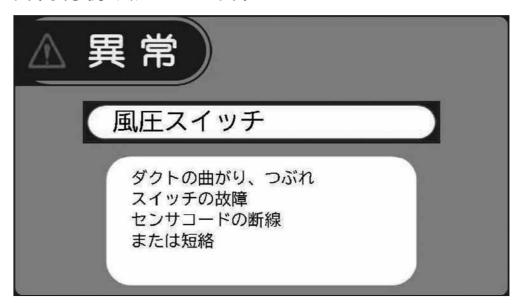
電源スイッチをONにすると上記画面が表示されます。

各部センサや水分計との通信テストを行っているため、画面が切り替わるまでお待ちください。

通信テストが完了すると自動的に作業選択画面へと切り替わります。(P3)

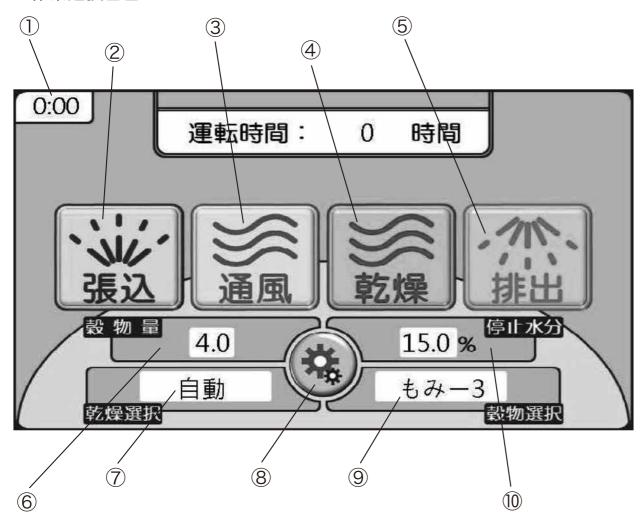
通信状態に異常があった場合、どのセンサと通信ができていないのか、画面に「異常表示」としてアナウンスされます。その場合、アナウンスされた箇所の確認・点検を行ってください。各異常表示の詳細は**こんな時どうする(故障とその処置)**をご確認ください。(P62)

異常表示例:風圧スイッチ異常



基本画面名称と操作

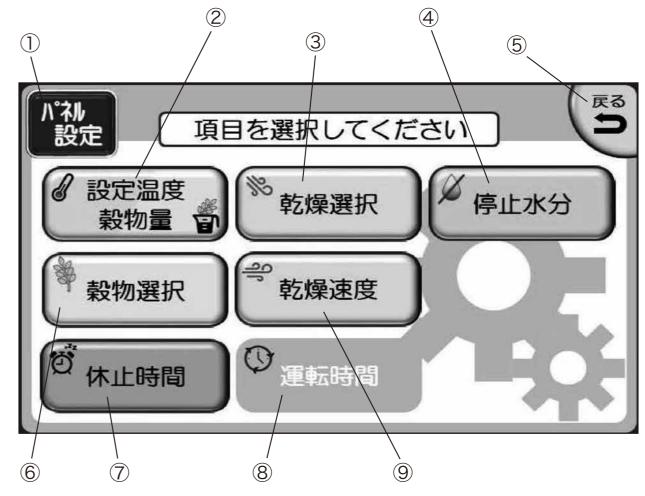
2.作業選択画面



- ①時刻表示
- ②張込ボタン
- ③通風ボタン
- ④乾燥ボタン
- ⑤排出ボタン

- ⑥穀物量表示
- ⑦乾燥選択表示
- ⑧基本設定ボタン
- ⑨穀物選択表示
- ⑩停止水分表示

3.基本設定画面



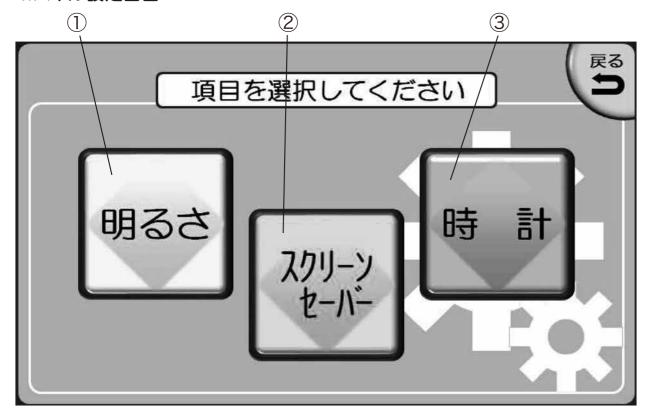
※操作できない箇所は選択できません。

- ①パネル設定ボタン
- ②設定温度/穀物量ボタン
- ③乾燥選択ボタン
- ④停止水分設定ボタン
- ⑤戻るボタン

- ⑥穀物選択ボタン
- ⑦休止時間設定ボタン
- ⑧運転時間設定ボタン
- ⑨乾燥速度設定ボタン

基本画面名称と操作

4.パネル設定画面



- ①明るさ選択ボタン
- ②スクリーンセーバー設定ボタン
- ③時刻設定ボタン

4-1.明るさ選択画面



適度な明るさになるようタッチして設定し、戻るボタンをタッチしてください。

4-2.スクリーンセーバー設定画面



画面を操作していない時間が設定時間数経過すると、液晶画面保護のためにスクリーンセーバーモードに移行します。この時、画面は暗転します。

スクリーンセーバー設定画面では、画面無操作後何分でスクリーンセーバーモードに移行するか設定することができます。

スクリーンセーバーモード中は画面をタッチすることで、操作画面に復帰します。

(操作手順)

- ①画面下の矢印ボタンでスクリーンセーバーモード移行までの時間を設定してください。
- ②**決定ボタン**をタッチしてください。

4-3. 時刻設定画面



時刻を設定することができます。

本機の電源プラグを抜いた状態で長時間放置すると、時刻が合わなくなる場合があります。その場合は再度時刻設定を行ってください。

内部の電池の消耗により、時刻の保持が出来なくなった場合は電池を交換する必要があります。お取引先に交換を依頼してください。

(操作手順)

- ①ダイヤルを回し、現在時刻に合わせ、設定してください。
- ②決定ボタンをタッチしてください。

5.設定温度/穀物量画面

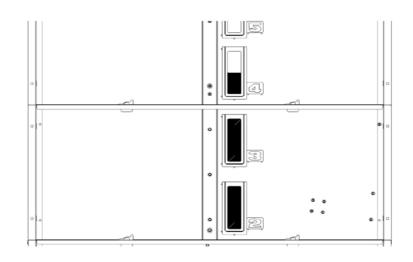


穀物を張込んだ後に、乾燥機にどれくらいの穀物が入っているのか設定します。 通風運転、乾燥運転の性能に関わる設定です。必ず確認をしてください。 上手な乾燥方法 (P54) を参考にして、熱風温度を設定してください。

ダイヤルを回すと、設定温度・穀物量が連動して変化します。

(操作手順)

- ①本機前部の覗窓を確認し、穀物がどこまで張込まれたか確認してください。
- ②穀物が張込まれている箇所に最も近い覗窓に表示された数字を確認してください。
- ③ダイヤルを回し、②で確認した数字を選択してください。
- ④決定ボタンをタッチしてください。



(例) 左図まで張込んだ場合は 穀物量④に設定します。

基本画面名称と操作

6.乾燥選択画面



穀物を乾燥する際の方法を設定することができます。 詳細は**基本運転操作 自動乾燥運転**以降をご覧ください。(P24)

操作手順

- ①任意の乾燥方法をタッチして選択してください。
- ②**戻るボタン**をタッチしてください。

7.停止水分設定画面



乾燥が終了する水分値を設定することができます。

操作手順

- (1)ダイヤルを回し、任意の停止水分値を設定してください。
- ②**決定ボタン**をタッチしてください。

停止水分+2%付近になりましたら、お手持ちの水分計で水分を測定してください。 乾燥機に表示されている水分値とお手持ちの水分計の数値に差がある場合は穀物選択を変 更して数値を合わせてください。(P11)

穀物選択を変更しても補正できないほど差がある場合は、停止水分設定を変更してください。

基本画面名称と操作

8.穀物選択画面



乾燥する穀物の選択を行うことができます。

注意!

乾燥性能及び穀物の仕上がり水分に関わる設定です。 乾燥する穀物と表示が一致しているか必ず確認してください。 誤って設定すると、希望の水分に仕上がりません。

操作手順

- ①乾燥する穀物を選択、タッチしてください。標準値はもみ3、麦2です。
- ②**戻るボタン**をタッチしてください。

停止水分+2%付近になりましたらお手持ちの水分計で水分を測定してください。 乾燥機に表示されている水分値とお手持ちの水分計の数値に差がある場合は穀物選択を変 更して数値を合わせてください。

穀物選択を変更しても補正できないほど差がある場合は、停止水分設定を変更してください。(P10)

乾燥中停止水分+2%付近時

乾燥機に表示されている水分がお手持ちの水分計 で測定した水分値よりも・・・

	もみ	麦
1.0%高い	もみ1	_
0.5%高い	もみ2	麦1
標準	もみ3	麦2
0.5%低い	もみ4	麦3
0.0 /0 = 00 *	,	

9.休止時間設定画面



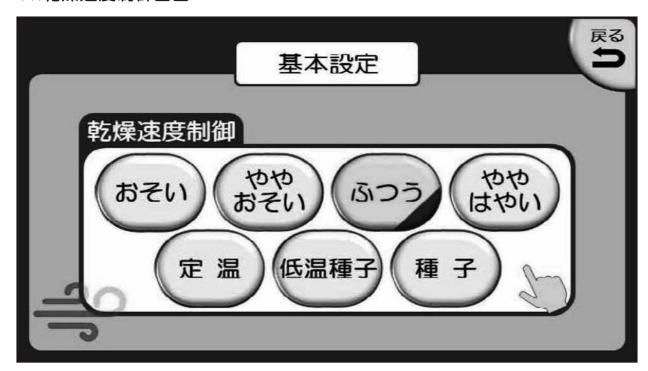
二段乾燥運転やプログラム乾燥運転などの選択時に行われる、乾燥を一時停止し、穀物を休ませる時間を設定することができます。

10.運転時間設定画面



循環通風運転やタイマー乾燥運転などの運転作業選択時に行われます。 運転時間を設定することができます。

11.乾燥速度制御画面



穀物を乾燥する際の速度を設定することができます。

注意!

乾燥性能及び穀物の仕上がりに関わる設定です。 乾燥前にお客様の想定している乾燥設定か、必ず確認してください。

(操作手順)

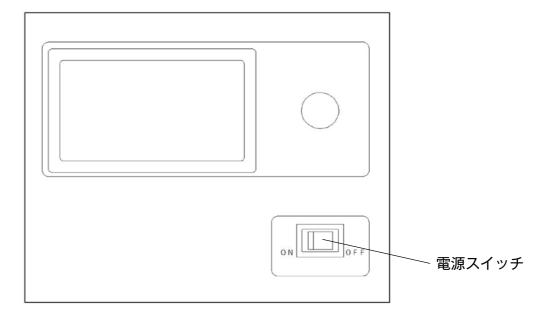
- ①任意の乾燥速度をタッチしてください。
- ②**戻るボタン**をタッチしてください。

基本運転操作

試運転の順序

コントロールボックスを操作して試運転を行います。

運転前に本機取扱説明書に記載の**運転前の準備と確認**を読み、乾燥機が運転できるように準備をしてください。



1.始業点検

始業点検時は、電源プラグを抜いてください。

- ※電気配線、燃料配管の確認
- ※ベルト、チェーンの確認
- ※水分計の確認
- ※カバー類、ダクトの装着確認 点検後は電源プラグを差し込んでください。

2.運転操作

①電源スイッチをONにします。 自動点検画面が約25秒間表示します。 (水分計が動作します。) その後、作業選択画面になります。 異常があった場合は画面に表示されます。



(例) 風圧スイッチ異常の場合

● 4.0

自動



15.0 %

もみ-3

②作業選択画面内の張込ボタンをタッチします。

運転確認画面が出るので**開始**をタッチします。 昇降機が運転を開始しますので、モータの回転 方向を確認してください。

ポイント

回転方向の確認は昇降機覗窓から昇降機バケットを目視で確認してください。

右図は回転方向の確認箇所です。

回転方向が逆転する場合 元電源を切って延長コードコネクタのアース以外 のどれか2本を入れ替えてください。

小警告

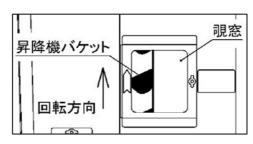
感電防止のため、必ず本機を停止して電源プラグ を抜いてから線を入れ替えてください。 入れ替えは電気配線の有資格者に依頼してください。

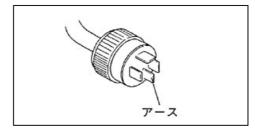
③停止ボタンをタッチします。

④右図の画面になるため、**停止**をタッチします。 昇降機モータが停止することを確認してください。













張込運転

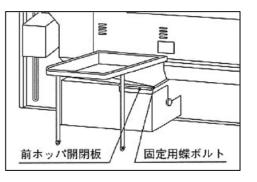
前ホッパで張込む場合固定用蝶ボルトをゆるめ、前ホッパ開閉板をあけます。

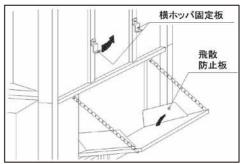
横ホッパで張込む場合(オプション)

- (1) 横ホッパ固定板を回し、ホッパを手前に倒します。
- (2) 飛散防止板を起こします。

<u>(1)</u> 注 意 —

スクリュに接触し、ケガをする恐れがありますのでホッパの奥に手を入れないでください。 張込作業が終了したら必ず前ホッパ開閉板を閉じて 蝶ボルトで固定してください。(前ホッパ)





1.運転操作

①作業選択画面内の**張込ボタン**をタッチします。 運転確認画面が出るので**開始**をタッチします。

注意!

前ホッパと横ホッパの同時張込はできません。

右図の画面になり、運転します。

- ②籾または麦を張込みます。
- ③張込が終了したら画面内の**停止ボタン**をタッチ します。
- ④右図の画面になるため、**停止**をタッチします。乾燥機が停止し、作業選択画面に戻ります。

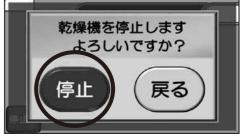
注意!

水分や選別状態及び張込方法等で昇降機の搬送量が変化します。

昇降機覗窓を見ながら、もどりの多い場合は張込む 量を前ホッパ開閉板で調節してください。 もどりが多いと故障の原因になります。







吸引ファンの運転

張込中画面の**送風ON/OFF**のボタンをタッチすることで吸引ファンが運転します。

このボタンをタッチするたびに吸引ファンが運転したり停止したりします。

2.張込中の水分測定

- ※循環通風作業時の水分測定も同様の手順で行えます。
- ①張込中画面の**基本設定ボタン (歯車のマーク)** を タッチしてください。
- ②右図画面になります。**穀物選択ボタン**をタッチしてください。
- ③右図画面になります。張込む穀物の標準に合わせてボタンをタッチし、**戻るボタン**を押してください。②の画面に戻ります。
 - · 籾の場合はもみ3 (標準) にしてください。
 - ・麦の場合は各種2 (標準) にしてください。
- ④右上の**戻るボタン**をタッチしてください。①の画面に戻ります。
 - ・④までの手順は穀物選択が標準であれば、省略することができます。
- **⑤水分測定ボタン**をタッチしてください。 画面が切り替わります。
- ⑥右図画面になります。約1分後に測定結果が画面 に表示されます。
 - ・水分測定中、張込運転を中止したい場合は**停止** ボタンをタッチしてください。
 - ・水分測定を中止し、①の張込中画面に戻りたい 場合は右上の**戻るボタン**をタッチしてください。













約1分後

張込運転

右図は表示例です。

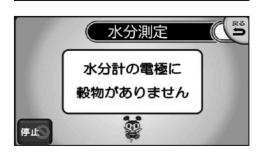
- ·水分が測定範囲より低い場合はL表示になります。
- ・水分のばらつきが多いほど水分分布が横に広がります。 張込時は水分のばらつきが多いのが通常です。
- ・青米混入度は水分が20%以上又は青米が少ない 時には表示しません。
- ・水分のばらつきが多い籾、あるいは青米の混入量が多い場合には、数時間、循環通風運転を行ってください。(P21)

高水分の籾、青米などは乾く方向に向かい、水分ムラが緩和されます。



水分分布





⑦元の表示に戻ります。

注意!

バケットの搬送量が少ない場合や高水分又は選別 状態が悪い場合に水分表示ではなく「水分計の電極 に穀物がありません」と表示する場合があります。

3.張込時の注意

満量になるとブザーが鳴り自動停止します。

停止ボタンをタッチするとブザーが停止し、作業選択画面に戻ります。

ホッパの中の穀物が残った場合、再度**張込ボタン**をタッチしてください。「満量」表示のままで約1分間運転できます。

ブザーが鳴り全停止したら**停止ボタン**をタッチしてください。ホッパの中の穀物以外は張込まないでください。

穀物は、循環を始めると穀物間の隙間が広くなり容積が増えます。

満量停止後の追加張込は、絶対に行わないでください。

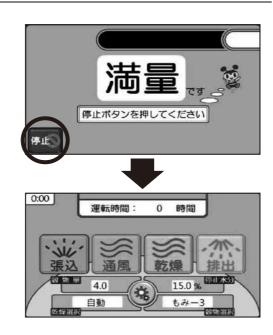
ワラ屑などが多かったり、高水分の穀物、品種ごと の特性や大きさ、状態により、**標準の量が入らない** こともあります。

張込過ぎにより「過負荷昇降機モータ」を表示して機械が停止した場合は、処置をお取引先に依頼してください。(高所作業)

型式45・50・55で、水分18%以下の低水分小麦を張込む場合は、張込量覗窓団以上に張込まないでください。

乾燥機が故障及び破損する原因になります。

右の表は籾と小麦のおおよその目安です。水分値 18%以下の小麦は「7」以上張込まないでください。大麦は、籾の約10%増の重量になります。 選別状態によって10%前後の差が出ます。



覗窓と張込量の目安

覗窓	籾(kg)	小麦 (kg)
91	5500	(6600)
9	4500	(5400)
8	4000	(4800)
7	3500	4200
6	3000	3600
5	2500	3000
4	2000	2400
3	1400	1680
2	1000	1200
1	650	780

張込運転

4.穀物の張込状態

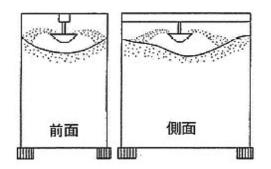
張込まれた穀物は、乾燥機内の四隅が高くなり中央部が低いすり鉢形になります。

張込まれた直後の山の形は、水分の状態や選別に より変化します。

警告!

張込時に山の形を平らにならして追加張込することは絶対にやめてください。

乾燥機が故障する原因になります。



穀物のムレ防止や高水分籾の水分ムラ除去のために行います。

水分のばらつきが多い籾、あるいは青米の混入量が多い場合には循環通風をしてください。(乾 燥機に張込時、**水分測定ボタン**を押して確認してください。) 高水分の籾・青米などは乾く方向に向かい、水分ムラが緩和されます。

1.運転操作

- ①作業選択画面の基本設定ボタン(歯車のマーク) をタッチしてください。
- ②右図画面になります。設定温度/穀物量ボタンを タッチしてください。P8に記載の説明に沿って操 作を行います。
- ③ダイヤルを回し、穀物量を設定します。 本機前部の覗窓を確認し、張込まれた量のおお よそ半分の数値を設定してください。 例: 覗窓倒であれば2に設定する。 決定ボタンをタッチすると②の画面に戻ります。
- ④右上の戻るボタンをタッチしてください。 ①の画面に戻ります。
- ⑤作業選択画面の通風ボタンをタッチしてください。 運転確認画面が出るので開始をタッチします。





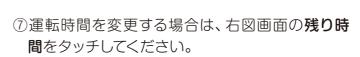






循環诵風運転

- ⑥循環通風運転が開始され、右図画面になります。
 - ・タイマの初期設定は3時間です。
 - ・タイマの残り時間が0になると全停止します。





循環通風中

3:00

(14)

-9

0

水分割定できます

0

⑧基本設定画面になります。ダイヤルを回して任意 の運転時間を設定し、決定ボタンをタッチしてく ださい。

注意!

長時間の循環通風はしないでください。脱ぷ籾や損 傷籾が多くなる原因になります。特に張込時に脱ぶ 籾や損傷籾が多い場合や、胴割れしやすい品種の場 合は注意してください。

高水分麦は張込後循環通風せず、直ちに乾燥を行っ てください。

- ·水分測定ボタンを押すと水分測定ができます。 詳細はP17をご覧ください。
- ・微細な夾雑物が多い場合、水分測定が出来ない場 合があります。
- ・乾燥終了後、循環通風したときに水分測定を行っ た場合は、乾燥終了時の水分値とは異なります。





2.通風運転のみ行う方法

循環通風中画面の**循環停止ボタン**をタッチすると、ボタンの色が灰色に変わります。

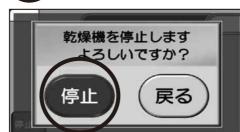
この時乾燥機の循環が止まり、ファン運転のみになります。

- ・やむをえず長時間の通風だけをしたい場合に使 用してください。
- ・水分測定はできません。
- ・循環通風に戻す場合は、乾燥機の運転を停止させてから再運転してください。
- ・水分測定は、できません。
- ⑨運転を全停止したい場合は画面内の**停止ボタン** をタッチします。

⑩右図の画面になるため、**停止**をタッチします。 乾燥機が全停止し、作業選択画面に戻ります。





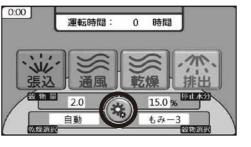


自動乾燥運転

■通常の乾燥運転です。

1.運転操作

①作業選択画面の**基本設定ボタン (歯車のマーク)** をタッチしてください。



②右図画面になります。**乾燥選択ボタン**をタッチしてください。P9に記載の説明に沿って操作を行います。



③自動乾燥のボタンをタッチして設定してから**戻る** ボタンをタッチしてください。

②の画面に戻ります。



④右図画面の**設定温度/穀物量ボタン**をタッチしてください。P8に記載の説明に沿って操作を行います。



⑤ダイヤルを回し、穀物量表示の数字を張込まれた量(窓の数字)に合わせ、**決定ボタン**をタッチしてください。

自動的に熱風温度及び循環量が設定されます。 ④の画面に戻ります。

⑥右図画面の**停止水分ボタン**をタッチしてください。 P10に記載の説明に沿って操作を行います。





自動乾燥運転

⑦ダイヤルを回し、希望の水分値に設定します。 その後**決定ボタン**をタッチしてください。 ⑥の画面に戻ります。

注意!

年初回の乾燥時は停止水分値を1%位高めに設定し、 仕上がり時には水分値をよく確かめてから2回以降 の停止水分値を決めてください。

⑧右図画面の**穀物選択ボタン**をタッチしてください。P11に記載の説明に沿って操作を行います。

注意!

穀物選択は正しく設定してください。誤って設定 すると、希望の水分に仕上がりません。

- ⑨張込む穀物の種類に合わせてボタンをタッチし、 戻るボタンをタッチしてください。
 - ⑧の画面に戻ります。
 - ・標準は籾の場合はもみ3・麦の場合は各種2です。
- ⑩右図画面の**乾燥速度設定ボタン**をタッチしてください。P13に記載の説明に沿って操作を行います。
- ⑪乾燥速度をタッチし、設定します。
 - **標準は、ふつうです**。設定したら**戻るボタン**をタッチしてください。
- ⑪の画面に戻ります。
- ⑩画面右上の**戻るボタン**を押してください。
- 作業選択画面に戻ります。

穀物選択がもみの場合は、全ての乾燥速度を設定 出来ます。

麦の場合は、ふつう・定温・低温種子・種子のみ設 定出来ます。その他を選択してもふつうと同様にな ります。











自動乾燥運転

おそい・ややおそい ……… 早期で青米が多い籾乾燥 胴割れしやすい籾やもち米の乾燥。

ふつう …………通常の籾 (麦) 乾燥。

ややはやい ……… 乾燥時間がかかる時 (籾乾燥)。

種子 …………… 種子籾麦の乾燥 初期低温で水分値により昇温乾燥します。

水分	20%未満	20%以上27%未満	27%以上
熱風温度	45℃	39℃~36℃	35℃

低温種子 ·····・・・・・・・種子籾麦の低温乾燥 胴割れしやすい籾や立毛中に胴割れしている籾が多いときなどに選択します。

水分	20%未満	20%以上27%未満	27%以上
熱風温度	38℃	37℃~31℃	30℃

特に胴割れしやすい品種や立毛中に胴割れ米がある場合は定温 にしてさらに設定温度/穀物量設定で熱風温度を低く設定して 乾燥してください。

注意!

乾燥速度の設定は乾燥機の運転前に行って ください。運転中は設定できません。

注意!

この乾燥機は種子用の乾燥機ではないため、 発芽率の保証はできません。

②作業選択画面の**乾燥ボタン**をタッチしてください。 運転確認画面が出るので**開始**をタッチします。



- ・初期設定温度を表示します。(右図画面は例) 設定温度を変更する場合は右図画面中にダイヤル を回して変更してください。
- 乾燥速度が種子の場合や麦のふつう乾燥では自動設定されますので変更できません。
- ・乾燥中の熱風温度は、乾き具合で変化します。 (もみのみ。麦は一定温度になります。)



決定

注意!

運転開始直後はバーナの燃焼状態に異常がないか 確認してください。

・次ページ®の画面表示中に設定温度を変更したい場合は、**基本設定ボタン**をタッチすると ④の基本設定画面に移行します。④と同様の操作で設定温度を変更することが出来ます。

自動乾燥運転

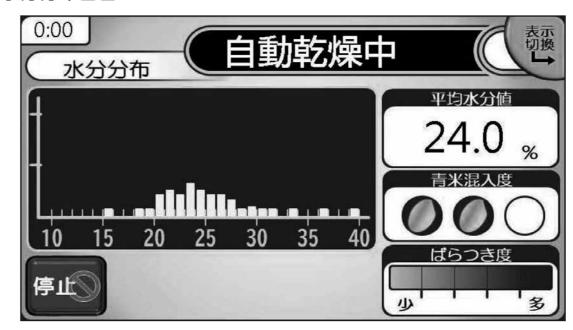
③乾燥状態を画面表示します。

2.乾燥状態画面



- ・乾燥開始時に水分測定を行います。水分測定中は1つの画面のままで停止水分、穀物選択、乾燥速度の設定内容が表示されます。確認してください。
- ・麦乾燥や特定の乾燥方法での運転時は、乾燥速度は表示されません。
- ・水分表示後の画面表示は、乾燥状態→水分分布→機内水分→水分移行データの順に切り換わり表示します。また、画面右上の表示切換ボタンをタッチすると任意で画面を切り換えることができます。
- ·水分が測定範囲より低い場合はL表示になります。
- ・水分測定は30分毎に行います。停止水分付近になると10分毎になります。 微細な夾雑物が多い場合、乾燥開始直後の水分測定が出来ない場合があります。

3.水分分布画面



・水分計で測定した水分値を分布表示します。 横に広がるほどばらつきが多いことを示して います。

注意!

ばらつきが多い場合は乾燥に十分注意してください。(P54)

- ・青米混入度は水分の20%以上又は青米が 少量の場合は表示しません。
- ・水分計のばらつきが中間よりも多い場合は仕上がり水分もばらつきますので、二段乾燥を行い、 一時休止させてください。(P34) また、停止水分を高めに設定してください。(過乾燥防止)

4.機内水分画面



・現在と前5回の水分値を表示します。30分毎の水分差が1.5%以上ある場合は、層のムラが多い状態です。乾燥に十分注意してください。

5.水分移行データ画面



-29-

・乾燥状況をグラフで表示します。縦軸が水分値、横軸が経過時間です。

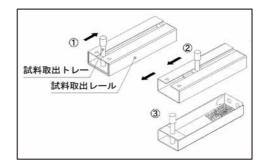
仰乾燥終了までの残り予定時間を表示します。

- ・乾燥開始から約30分後に表示します。
- ・乾燥速度が定温・種子・麦の場合は表示しません。 又、水分が30%以上の場合や停止水分+1%以内 の場合も表示しません。
- ・右図画面例の10:30は、10時間30分後に乾燥終 了予定の表示です。
- ・残り時間は、張込まれた穀物の水分のばらつきに よってずれを生じる場合があります。
- ⑤乾燥途中で水分を確認します。

6.試料の取り出し方法

- ①試料取出トレーを矢印の方向へ押し込み、試料 を採取します。
- ②矢印の方向へ引き抜きます。
- ③試料取出トレーから試料を取り出します。
- ④トレーはレールの△の位置に戻してください。
- ⑤水分値の確認と補正方法はP52を参照してくだ さい。





自動乾燥運転

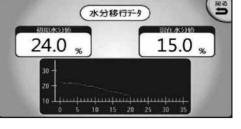
- 16停止水分値で自動停止します。 右図画面は自動停止時の表示例です。 停止水分以下で自動停止する場合があります。 水分データボタンをタッチすることで、乾燥時の 水分移行データを確認することができます。
- ⑪自動停止後、次の作業に移る場合は停止ボタンを タッチしてください。作業選択画面になります。
- 18作業選択画面移行後、右図画面の水分データボ **タ**を確認することができます。

そのデータを確認することはできません。

タンをタッチすることで、乾燥時の**水分移行デー** データ確認前に他の作業ボタンをタッチすると

-30 -







籾の乾燥作業のみ可能です。水分が多いときは籾の食味が低下しないよう、低い熱風温度で 自動乾燥を開始します。

乾燥が進むにつれて穀物の水分状態によって熱風温度を自動制御します。

籾にやさしく、食味を考えた乾燥方法です。

水分のばらつきが多い場合は、乾燥途中でバーナが消火し、循環運転のみ行うことで水分ムラ を除去する運転になります。数時間後、再乾燥を行います。

1.運転操作

- ①作業選択画面の基本設定ボタン (歯車のマーク) をタッチしてください。
- ②右図画面になります。乾燥選択ボタンをタッチし てください。P9に記載の説明に沿って操作を行 います。
- ③イチおし乾燥のボタンをタッチして設定してから **戻るボタン**をタッチしてください。
- ②の画面に戻ります。
- ④右図画面の設定温度/穀物量ボタンをタッチし てください。P8に記載の説明に沿って操作を行 います。
- ⑤ダイヤルを回し、穀物量表示の数字を張込まれた 量(窓の数字)に合わせ、決定ボタンをタッチして ください。自動設定されていますので、ダイヤルを 回しても設定温度は変わりません。
- ④の画面に戻ります。











イチおし乾燥運転

⑥右図画面の停止水分ボタンをタッチしてくださ い。P10に記載の説明に沿って操作を行います。



(7)ダイヤルを回し、希望の水分値に設定します。 その後決定ボタンをタッチしてください。 ⑥の画面に戻ります。



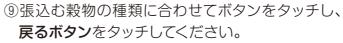
A'礼 設定 項目を選択してください

8 設定温度

⑧右図画面の穀物選択ボタンをタッチしてくださ い。P11に記載の説明に沿って操作を行います。

注意!

穀物選択は正しく設定してください。誤って設定す ると、希望の水分に仕上がりません。



- ⑧の画面に戻ります。
- ・標準は籾の場合はもみ3・麦の場合は各種2です。



乾燥選択

停止水分

⑩右図画面の**乾燥速度設定ボタン**をタッチしてくだ さい。P13に記載の説明に沿って操作を行います。



⑪乾燥速度をタッチし、設定します。 **ふつう**に設定してください。 ふつう以外を選択しても設定されません。 全てふつう設定になります。 設定したら**戻るボタン**をタッチしてください。 ⑩の画面に戻ります。

⑩画面右上の**戻るボタン**を押してください。 作業選択画面に戻ります。



-31 -

- ②作業選択画面の**乾燥ボタン**をタッチしてください。 運転確認画面が出るので**開始**をタッチします。
- ・初期設定温度を表示します。(右図画面は例) 温度は自動設定されていますので、ダイヤルを回 しても設定変更できません。 乾燥中の熱風温度は乾燥具合で変化します。
- (3)乾燥状態を画面表示します。(右図画面は例) 穀物選択の設定内容が表示されます。 確認してください。 乾燥速度はふつう設定で固定されているため、 表示されません。
- ・水分値表示後の画面表示は自動乾燥運転時と同様の表示内容です。(P27) 乾燥中の表示は「イチおし乾燥中」となります。
- (4) 乾燥途中で水分を確認します。P29を参照してください。
- (1) 停止水分値で自動停止します。 右図画面は自動停止時の表示です。 停止水分以下で自動停止する場合があります。











二段乾燥運転

水分ムラのある粉、もち米の乾燥に使用します。麦の乾燥には使用できません。 連続的に乾燥するのではなく、途中で一定時間休止を行うと水分のばらつきが少なくなり、水 分計の停止精度が向上します。又、水分の低い粉は胴割れがおこりにくくなります。

- 🕂 警 告 -

二段乾燥中は一時乾燥機が休止状態となりますが、休止後に自動運転を行いますので休止中 に機内へ入ったり、点検修理をするのは絶対にやめてください。

1.運転操作

例:水分値18%で休止し、休止時間3時間経過後再乾燥、15.0%で自動停止する場合

運休止水分値18%停止設定15.0%転乾燥休止3時間再乾燥開仕上がり自動停止

・休止水分値は18%に設定されています。休止時間は出荷時、3時間に設定されていますが、休止時間設定で変更することができます。

注意!

休止時間の設定は、乾燥機の運転前に行ってください。運転中は設定できません。

①作業選択画面の**基本設定ボタン (歯車のマーク)** をタッチしてください。

②右図画面になります。**乾燥選択ボタン**をタッチしてください。P9に記載の説明に沿って操作を行います。





- ③二段乾燥のボタンをタッチして設定してから**戻る ボタン**をタッチしてください。
 - ②の画面に戻ります。
- ④休止時間を設定します。 右図画面の**休止時間設定ボタン**をタッチしてください。
- ⑤ダイヤルを回し、休止時間を設定します。 例では3時間に設定します。 設定したら**決定ボタン**をタッチしてください。 ④の画面に戻ります。
- ・休止時間の設定は、乾燥機の運転前に行ってく ださい。運転中は設定できません。
- ⑥右図画面の**設定温度/穀物量ボタン**をタッチしてください。P8に記載の説明に沿って操作を行います。
- ①ダイヤルを回し、穀物量表示の数字を張込まれた量(窓の数字)に合わせ、**決定ボタン**をタッチしてください。
- ⑥の画面に戻ります。
- ⑧右図画面の**停止水分ボタン**をタッチしてください。P10に記載の説明に沿って操作を行います。













- ⑨ダイヤルを回し、希望の水分値に設定します。 その後決定ボタンをタッチしてください。
 - ⑧の画面に戻ります。

⑩右図画面の穀物選択ボタンをタッチしてください。P11に記載の説明に沿って操作を行います。

注意!

穀物選択は正しく設定してください。誤って設定すると、希望の水分に仕上がりません。

- ⑪張込む穀物の種類に合わせてボタンをタッチし、 戻るボタンをタッチしてください。
- ⑩の画面に戻ります。
- ・標準は籾の場合はもみ3・麦の場合は各種2です。
- ⑫右図画面の乾燥速度設定ボタンをタッチしてください。P13に記載の説明に沿って操作を行います。
- ③乾燥速度をタッチし、設定します。標準は、ふつうです。設定したら決定ボタンをタッチしてください。⑩の画面に戻ります。⑪画面右上のを押してください。作業選択画面に戻ります。
- ⑪作業選択画面の乾燥ボタンをタッチしてください。 運転確認画面が出るので開始をタッチします。
- ・初期設定温度を表示します。(右図画面は例)
- ·P26を参照してください。



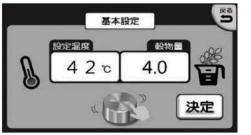












二段乾燥運転

③乾燥状態を画面表示します。(右図画面は例) 穀物選択の設定内容が表示されます。 確認してください。

麦の場合は乾燥速度を表示しません。

- ・水分値表示後の画面表示は自動乾燥運転時と 同様の表示内容です。(p27) 乾燥中の表示は「二段乾燥中」となります。
- (4)休止水分値(18%)になると自動停止し、右図の 画面になり休止に入ります。(例) (休止水分値は18%に設定されています。)
- ・18%以下で休止に入る場合があります。
- ・休止中は、休止中画面になります。
- (1)残り時間が0になると警告音が鳴り、再乾燥が開始されます。



・運転中の画面表示は休止前と同様の表示内容です。 休止水分は表示しません。 休止時間も表示しません。

- ⑩乾燥途中で水分を確認します。P29を参照してください。
- ①停止水分値で自動停止します。 右図画面は自動停止時の表示です。 停止水分以下で自動停止する場合があります。













プログラム乾燥運転

夜間の騒音防止や省エネのため、乾燥→休止→再乾燥の時間をあらかじめ設定する乾燥方法です。

八警告

プログラム乾燥中は一時乾燥機が休止状態となりますが、休止後に自動運転を行いますので休止中に機内に入ったり、点検修理をするのは絶対にやめてください。

1.運転操作

例:運転後7時間で休止し、6時間経過後に再乾燥、 15.0%で自動停止する場合

運7時間後休止停止設定15.0%転乾燥休止6時間再乾燥開仕上がり自動停止

- ・休止時間は出荷時、3時間に設定されていますが、 休止時間設定で変更することができます。(P40)
- ・運転時間の設定は、プログラム乾燥を開始してから設定します。(P41)

注意!

休止時間の設定は、乾燥機の運転前に行ってください。運転中は設定できません。

①作業選択画面の**基本設定ボタン (歯車のマーク)** をタッチしてください。

②右図画面になります。**乾燥選択ボタン**をタッチしてください。P9に記載の説明に沿って操作を行います。





- ③**プログラム乾燥**のボタンをタッチして設定してから**戻るボタン**をタッチしてください。
 - ②の画面に戻ります。
- ④右図画面の**設定温度/穀物量ボタン**をタッチしてください。P8に記載の説明に沿って操作を行います。
- ⑤ダイヤルを回し、穀物量表示の数字を張込まれた量(窓の数字)に合わせ、**決定ボタン**をタッチしてください。
 - ④の画面に戻ります。
- ⑥右図画面の**停止水分ボタン**をタッチしてください。P10に記載の説明に沿って操作を行います。
- ⑦ダイヤルを回し、希望の水分値に設定します。 その後**決定ボタン**をタッチしてください。
- ⑥の画面に戻ります。
- ⑧右図画面の**穀物選択ボタン**をタッチしてください。P11に記載の説明に沿って操作を行います。

注意!

穀物選択は正しく設定してください。誤って設定 すると、希望の水分に仕上がりません。







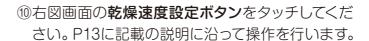






プログラム乾燥運転

- ⑨張込む穀物の種類に合わせてボタンをタッチし、戻るボタンをタッチしてください。
 - ⑧の画面に戻ります。
 - ・標準は籾の場合はもみ3・麦の場合は各種2です。





基本設定

穀物選択

① 乾燥速度をタッチし、設定します。 **標準は、ふつうです**。

設定したら**戻るボタン**をタッチしてください。 ⑩の画面に戻ります。



⑫右図画面の休止時間ボタンをタッチしてください。



- (3)ダイヤルを回し、休止時間を設定します。 例では6時間に設定します。
- 設定したら**決定ボタン**をタッチしてください。
- ⑪の画面に戻ります。
- ⑩画面右上の**戻るボタン**をタッチしてください。 作業選択画面に戻ります。
- ④作業選択画面の乾燥ボタンをタッチしてください。 運転確認画面が出るので開始をタッチします。





- ・初期設定温度を表示します。(右図画面は例)
- ·P26を参照してください。
- ⑤運転時間を設定します。 乾燥状態が画面表示されたら、「**休止まで**」をタッチしてください。
- 16右図画面になります。ダイヤルを回し、任意の運転時間を設定し、**決定ボタン**をタッチしてください。 例では7時間に設定します。
 - 15の画面に戻ります。
- ①乾燥状態を画面表示します。(右図画面は例) 穀物選択の設定内容や休止までの時間などが表示されます。確認してください。
 - ・乾燥中の表示は「プログラム乾燥中」となります。
- (®運転時間が終了すると自動停止し、右図の画面に なり休止に入ります。(例)
 - ・休止中は、休止中画面になります。
- (19残り時間が0になると警告音が鳴り、再乾燥が開始されます。













プログラム乾燥運転

・再乾燥が始まると、初期設定温度を表示します。 (右図画面は例)



- ・運転中の画面表示は休止前と同様の表示内容です。
- 休止までの時間は表示しません。 休止時間も表示しません。
- ②乾燥途中で水分を確認します。P29を参照してください。
- ②停止水分値で自動停止します。 右図画面は自動停止時の表示です。 停止水分以下で自動停止する場合があります。





追加乾燥の場合や時間で乾燥させたい場合はタイマーを使って乾燥運転を行います。

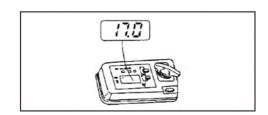
注意!

過乾燥にならないよう、水分値を確認しながら作業 してください。

水分計は動作しますが、自動停止はしません。

1.運転操作

- ①現在の穀物水分をお手持ちの水分計で測定します。(右図は例)
 - ・サンプルの穀物は、通風ボタンをタッチして運転し、試料取出口から採取してください。循環通風運転の方法はP21、試料の採取方法等はP29を参照してください。
- ②作業選択画面の**基本設定ボタン (歯車のマーク)** をタッチしてください。
- ③右図画面になります。乾燥選択ボタンをタッチしてください。P9に記載の説明に沿って操作を行います。
- ④タイマー乾燥のボタンをタッチして設定してから 戻るボタンをタッチしてください。
- ③の画面に戻ります。
- ③画面右上の**戻るボタン**を押してください。 作業選択画面に戻ります。



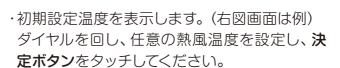






タイマー乾燥運転

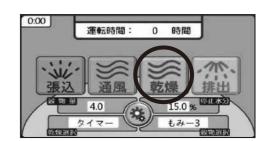
⑤作業選択画面の**乾燥ボタン**をタッチしてください。 運転確認画面が出るので**開始**をタッチします。



- ·初期設定温度以降の熱風温度の変更方法は P26を参照してください。
- ⑥運転時間を設定します。(右図画面は例)
 - ・1時間に約0.8%乾燥すると仮定して運転時間を設定します。
 - ・運転時間はタイマー乾燥中でのみ設定できます。 乾燥中画面の「**残り時間**| をタッチしてください。
- ⑦右図画面になります。ダイヤルを回し、任意の時間を設定し、**決定ボタン**をタッチしてください。 ⑥の画面に戻ります。
 - ・乾燥の途中でも運転時間を変更出来ます。
- ⑧乾燥状態を画面表示します。(右図画面は例) 水分表示後は、乾燥状態→水分分布・青米混入度 の順に自動に切り換わり表示します。 水分表示がーーーの場合は水分計に異常があります。

注意!

水分計に異常があった場合はすぐにお取引先に修理 を依頼するか、過乾燥にならないようお手持ちの水 分計でこまめに確認しながら乾燥作業を継続し、乾 燥が終了したらお取引先に修理を依頼してください。













タイマー乾燥運転

⑨残り時間が0になるとバーナが消火します。 (右図画面は例)

タイマー乾燥中から放冷中に表示が変わります。

注意!

水分計での自動停止はしません。 過乾燥にならないように注意してください。

⑩約20分後に全停止し、右画面になります。





麦の乾燥について

・ワラ屑や草などの夾雑物は乾燥機内の循環の支障になる場合がありますので麦を張込む前にできるだけ取り除いてください。高水分小麦張込時、張込を中断し、その後追加張込をする場合は張込中断から追加張込までの間、循環通風を行ってください。張込終了後は直ちに乾燥運転してください。

・低水分小麦の張込について

型式45·50·55で水分18%以下の小麦を張込む場合は、張込量覗窓7以上に張込まないでください。乾燥機が故障及び破損する原因になります。

・小麦 (大麦) の乾燥について

刈取時点で成熟度をよく確認し、水分30%以下で刈り取り、乾燥するようにしてください。 高水分の場合は、脱穀時点での損傷やつぶれが発生します。小麦の場合、あま皮の付着が多くなり、乾燥機内の張り付きが発生して循環を著しく悪化させます。

・ビール麦乾燥について

穀物選択にビール麦を追加する必要があります。お取引先に設定を依頼してください。 発芽勢・発芽率の低下を防ぐため、水分25%前後以下で刈り取り、乾燥するようにしてください。高水分の場合は、脱穀時点での損傷が多くなり発芽率が悪化する他、乾燥機内の循環も悪化します。コンバインの調整を適切に行ってください。

1.小麦 (大麦) 乾燥時の運転操作

①作業選択画面の**基本設定ボタン(歯車のマーク)** をタッチしてください。



②右図画面になります。**乾燥選択ボタン**をタッチしてください。P9に記載の説明に沿って操作を行います。



- ③**自動乾燥**のボタンをタッチして設定してから**戻る ボタン**をタッチしてください。
- ②の画面に戻ります。



④右図画面の**穀物選択ボタン**をタッチしてください。 P11に記載の説明に沿って操作を行います。

注意!

穀物選択は正しく設定してください。誤って設定すると、希望の水分に仕上がりません。

- ⑤小麦 (大麦) に合わせてボタンをタッチし、**戻る** ボタンをタッチしてください。
 - ④の画面に戻ります。
 - ・標準は小麦2、大麦2です。
- ⑥右図画面の**設定温度/穀物量ボタン**をタッチしてください。P8に記載の説明に沿って操作を行います。
- ①ダイヤルを回し、穀物量表示の数字を張込まれた量 (窓の数字) に合わせ、**決定ボタン**をタッチしてください。
 - 設定温度は変化せず、穀物量に合わせて循環量が変化します。
 - ⑥の画面に戻ります。
- ⑧右図画面の停止水分ボタンをタッチしてください。 P10に記載の説明に沿って操作を行います。
- ⑨ダイヤルを回し、希望の水分値に設定します。 その後**決定ボタン**をタッチしてください。
- ⑧の画面に戻ります。
- ⑧画面右上の戻るボタンをタッチしてください。 作業選択画面に戻ります。













麦の乾燥について

⑩作業選択画面の**乾燥ボタン**をタッチしてください。 運転確認画面が出るので**開始**をタッチします。



- ①熱風温度が自動設定され、自動乾燥が開始され ます。
 - ・乾燥選択が自動乾燥の場合は、設定温度が自動設定されますので変更できません。
 - ・決定ボタンをタッチすると、自動乾燥中画面になります。(P27)
 - ・任意の熱風温度で乾燥したい場合は、基本設定画面から乾燥速度設定へ移り乾燥速度を定温にした後、設定温度/穀物量設定で温度調整してください。(P25.26参照)



②乾燥途中で水分を確認します。P29を参照してください。



2.ビール麦 (種麦) 乾燥時の運転操作

- ・乾燥の前にP46**ビール麦乾燥**についてを参照して ください。
- ①作業選択画面の基本設定ボタン(歯車のマーク) をタッチしてください。
- ②右図画面になります。乾燥選択ボタンをタッチ してください。P9に記載の説明に沿って操作を 行います。
- ③自動乾燥のボタンをタッチして設定してから戻 **るボタン**をタッチしてください。
 - ②の画面に戻ります。



注意!

穀物選択は正しく設定してください。誤って設定す ると、希望の水分に仕上がりません。

- ⑤ビール麦 (大麦) に合わせてボタンをタッチし戻 **るボタン**をタッチしてください。
 - ④の画面に戻ります。
 - ・標準はビール麦2です。









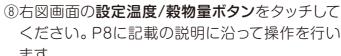


麦(ビール麦)の乾燥について

⑥右図画面の**乾燥速度設定ボタン**をタッチしてく ださい。



- ⑦乾燥速度を**種子**にタッチして設定し、**戻るボタ ン**をタッチしてください。
 - ⑥の画面に戻ります。





ください。P8に記載の説明に沿って操作を行い ます。



⑨ダイヤルを回し、穀物量表示の数字を張込まれた 量 (窓の数字) に合わせ、決定ボタンをタッチして ください。

設定温度は変化せず、穀物量に合わせて循環量 が変化します。

- ⑧の画面に戻ります。
- ⑩右図画面の**停止水分ボタン**をタッチしてくださ い。P10に記載の説明に沿って操作を行います。







⑪ダイヤルを回し、希望の水分値に設定します。 その後決定ボタンをタッチしてください。

- ⑩の画面に戻ります。
- ⑩画面右上の**戻るボタン**をタッチしてください。 作業選択画面に戻ります。

②作業選択画面の**乾燥ボタン**をタッチしてください。 運転確認画面が出るので開始をタッチします。

- ③熱風温度が自動設定され、自動乾燥が開始され ます。
 - ・乾燥選択が自動乾燥の場合は、設定温度が自動 設定されますので変更できません。
 - ·決定ボタンをタッチすると、自動乾燥中画面になります。(P27)
 - ・任意の熱風温度で乾燥したい場合は、基本設定画面から乾燥速度設定へ移り乾燥速度を定温にした後、設定温度/穀物量設定で温度調整してください。(P25.26参照)

注意!

ビール麦の発芽勢の低下を防止するため、設定温度を低く設定して乾燥させてください。

(4) 乾燥途中で水分を確認します。P29を参照してください。







水分値の確認と補正方法

- ・乾燥中画面に表示されている水分値が+2%付近になりましたら、お手持ちの水分計で穀物の水分値を確認してください。
- ・穀物(玄米)水分の平均値を出す場合は、青米・未熟米を取り除き、常温になった試料で5回程度水分値を計測し、平均値を出してください。
- ・乾燥機画面の表示とお手持ちの水分計の表示を 比較し、差がある場合は**基本設定ボタン**をタッチ し、P11の手順で穀物選択を変更してください。

注意!

穀物選択は正しく設定してください。誤って設定すると、希望の水分に仕上がりません。

1.もみの場合

- ・標準は、もみ3に合わせます。
- ・乾燥機画面の表示水分値が、お手持ちの水分計 の表示より1.0%高いとき

(例)

乾燥機表示 手持ち水分計水分17.0% 水分16.0%

・乾燥機画面の表示水分値が、お手持ちの水分計 の表示より0.5%高いとき

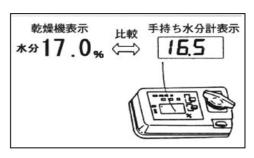
(例)

乾燥機表示 手持ち水分計水分17.0% 水分16.5%

・乾燥機画面の表示水分値が、お手持ちの水分計の表示より0.5%低いとき

(例)

乾燥機表示 手持ち水分計 水分17.0% 水分17.5%







もみ1をタッチします。(-1.0%補正)



もみ2をタッチします。(-0.5%補正)



もみ4をタッチします。(+0.5%補正)

水分値の確認と補正方法

・乾燥機画面の表示水分値が、お手持ちの水分計の表示より1.0%低いとき

(例)

乾燥機表示 手持ち水分計水分17.0% 水分18.0%



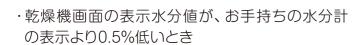
もみ5をタッチします。(+1.0%補正)

2.麦の場合

- ・標準は、小麦、または大麦2に合わせます。
- ・乾燥機画面の表示水分値が、お手持ちの水分計の表示より0.5%高いとき

(例)

乾燥機表示 手持ち水分計水分17.0% 水分16.5%



(例)

乾燥機表示 手持5水分計 水分17.0% 水分17.5%



小麦 (大麦) 1をタッチします。(-0.5%補正)



小麦 (大麦) 3をタッチします。(+0.5%補正)

・もみ・麦共に補正できないほど差がある場合は、 停止水分を変更してください。

胴割れ米、過乾燥防止のために、次のことに十分注 意して乾燥作業を行ってください。

- ①気温が30℃以上で湿度50%以下の時は張込み 後数時間は**設定温度/穀物量**を最低(1以下)に 設定し、タイマー運転で乾燥を行う、又は循環通 風のみ行ってください。その後、通常の乾燥作業 を行ってください。乾燥速度は「おそい」か「や かおそい」に設定してください。
- ②昼夜の気温差が激しい場合は籾の品質をそこねることがありますので夜間は熱風温度を低く設定してください。(乾燥速度は定温に設定します。)

③酒米の乾燥

上手な乾燥方法

胴割れ米になりやすい品種がありますので地域 の指導に従って十分注意しながら乾燥を行ってく ださい。

④もち米の乾燥

もみ (うるち米) と同様ですが、八ゼにくい品種 胴割れしやすい品種、水分計の精度が合いにく い品種がありますので、時々確認しながら乾燥を 行ってください。

⑤そばの乾燥

刈取時点で成熟度をよく確認し、水分30%以下で刈り取り、乾燥するようにしてください。 地域の指導に従って十分注意しながら乾燥を行ってください。 ⑥下記条件の場合の乾燥方法は、**乾燥速度を「定温」にして設定温度/穀物量を低く**設定し、ゆっくり乾燥してください。

P26を参照し、設定してください。

- ・刈り取り適期が過ぎてしまい、**圃場での胴割れ** 米が見られる場合。
- ·立毛中に胴割れ米が見られる場合。
- ・**胴割れしやすい品種**の場合。 **猛暑や冷害**を受けた籾、クズ米、シイナなどが 多く混入している籾の場合。
- ⑦水分のばらつきが多い籾(特に籾水分が低い場合)は、停止水分値で自動停止しても、お手持ちの水分計で確認すると水分が高い場合があります。自動停止後、水分を確認してタイマー乾燥を行ってください。(P43参照)

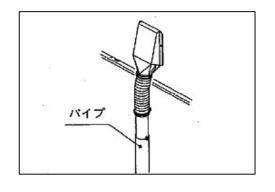
排出運転

1.作業前の確認

作業前には必ずお手持ちの水分計で水分を確認し てください。

サンプルの穀物は作業選択画面の**通風ボタン**をタッチして運転し、試料取出口から採取してください。(通風運転方法はP21参照)

(サンプル確認方法はP29.P52参照)



2.運転操作

①作業選択画面の**排出ボタン**をタッチしてください。運転確認画面が出るので開始をタッチします。



②排出運転が開始され、右図の画面になります。



③排出が終了すると自動停止します。 排出中に**停止ボタン**をタッチすると、約30秒後 に全停止します。



吸引ファンの運転

排出中画面の**送風ON/OFF**のボタンをタッチすることで吸引ファンが運転します。

このボタンをタッチするたびに吸引ファンが運転 したり停止したりします。



注意!

籾すり作業は「肌ずれ米」防止のため乾燥終了後、 十分に籾の温度が下がってから行ってください。



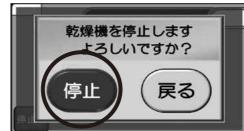
一時中断・非常停止の方法 停電時の復帰方法

一時中断の方法

- (例) 自動乾燥中に、乾燥を一時中断する場合
- ①画面左下の停止ボタンをタッチします。

②右図の画面になるため、**停止**をタッチします。 表示が**自動乾燥中**から**放冷中**になりバーナが 消火してから約20分後に全停止します。 全停止すると作業選択画面になります。





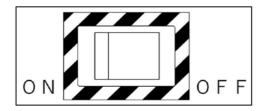
1.再乾燥の方法

各乾燥方法を選択し、それぞれの方法で乾燥作業 を行なってください。

非常停止の方法

電源スイッチを「OFF」にしてください。

非常停止以外は**停止ボタン**をタッチして停止させてください。



停電時の復帰方法

停電時は、機械が全停止します。

復帰させるためには、電源スイッチを一旦「**OFF**」にしてから「**ON**」に入れてください。

保守管理

(消耗品の交換アナウンス)

運転時間が750時間運転を過ぎますと作業選択 画面に右図画面のアナウンスが表示されます。 表示された場合、お取引先に消耗品の交換を依頼 してください。

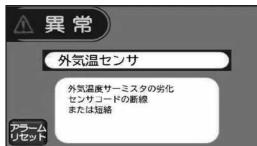


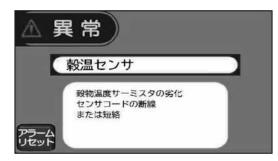
消耗品の交換時期ですメンテナンスを依頼してください

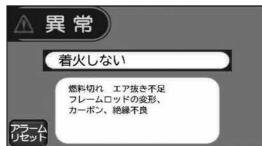
各部掃除の手順は本機取扱説明書を参照してください。

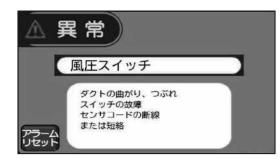
異常時のモニタ画面表示例

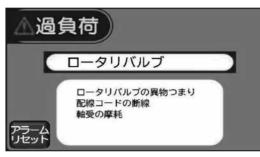


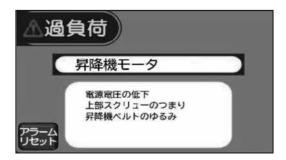


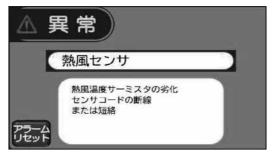




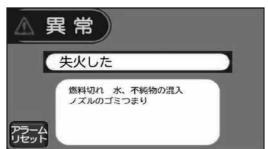


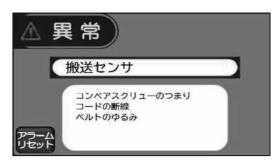






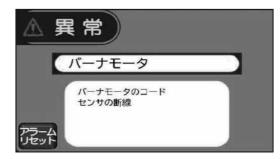


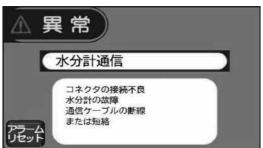




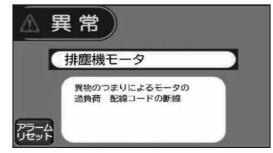


異常時のモニタ画面表示例



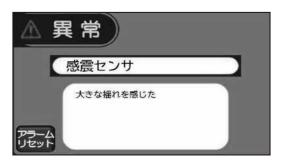


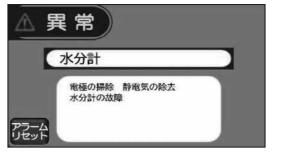






(注) 排出用の籾送り装置 (ハイコン)を 取付けた場合も表示します。

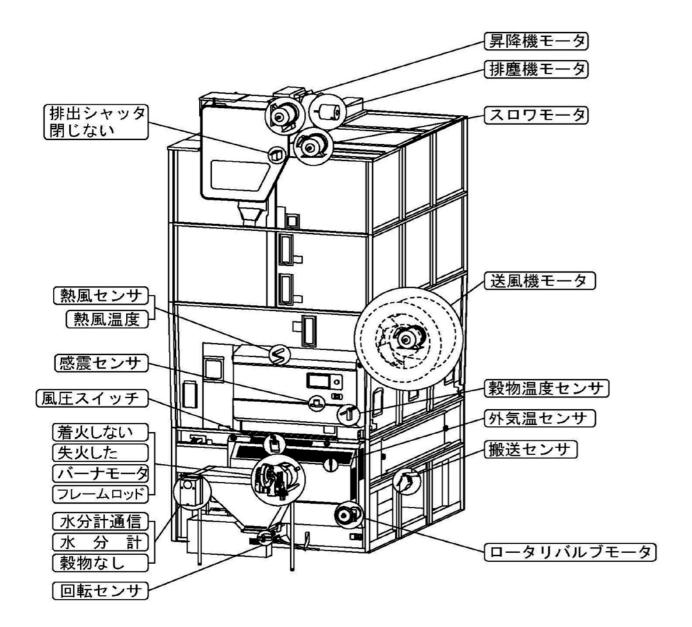








安全装置配置箇所



こんな時どうする(故障とその処置)

-- ⚠ 危 険 -

本機を点検、修理するときは特に必要がない限り必ず元電源を切ってください。 共同作業するときは、お互いに合図を交わし安全作業を行ってください。

始動時・運転時の異常と確認方法

1.電装品・モータ関係

異常の様子	原因	確認方法と処置
電源スイッチをONにしても	・停電	・電源を調べてください。
画面が表示されない。	・元ヒューズが切れている。	・同じコードで他の機械が
	・電源コードの断線。	稼働するか確認してくだ さい。
	・電源が欠相になっている。	・お取引先に修理を依頼してください。
		・元ヒューズが切れていな いか調べてください。
昇降機モータ(スロワモー	・電源が欠相になっている。	・お取引先に修理を依頼し
夕) が回らない。また、途中 で停止する。	・排出シャッタに異物やク ズが挟まっていてシャッ	てください。
・表示部に異常内容が表示 されている。	タスイッチが感知してい ない。	
	・昇降機モータ(スロワモー タ) が過負荷でサーマル が働いた。	
	・回転センサが働いた。	
	・ロータリバルブモータ コードの断線またはコネ クタの外れ。	

-61-

こんな時どうする(故障とその処置)

1.電装品・モータ関係

異常の様子	原因	確認方法と処置
昇降機モータ (スロワモータ) が回らない。また、途中で停止する。 ・表示部に異常内容が表示されている。(前ページ続き)	・水分計コネクタが接触不良となっている。・水分計本体が異常となっている。	・水分計コネクタを抜き差しして様子を見てください。 ・お取引先に修理を依頼してください。 水分計異常の応急処置 アラームリセットボタンをタッチしてから停止ボタンをタッチし、作業選択画面に戻ってください。 自動乾燥はできませんが、タイマー乾燥や張込・循環通風・排出の各作業は行うことができます。
乾燥・循環通風・排出作業でロータリバルブが回らない。また、途中で停止する。 ・表示部に異常内容が表示されている。	・ロータリバルブに異物が 嚙み込んで負荷が掛かっ ている。・コードの断線。・ロータリバルブ軸受け部 の異常により回らない。	・お取引先に修理を依頼してください。
吸引ファンが回らない。また、途中で停止する。 ・表示部に異常内容が表示されている。	・コードの断線またはコネクタの抜け。・吸引ファンモータが過負荷でサーマルが働いた。	・排風ダクトのつぶれ ・お取引先に修理を依頼し てください。

2.電源関係

異常の様子	原因	確認方法と処置
運転中にブレーカが落ちる。	・契約電力が違う。	・お取引先に連絡してください。
運転中に停電した。		・ボックスの電源を「OFF」 にします。
液晶画面が表示されない。 液晶画面をタッチしても反 応しない。	・液晶画面の故障や経年 劣化	・お取引先に修理を依頼してください。

こんな時どうする(故障とその処置)

3.バーナ関係

異常の様子	原因	確認方法と処置
バーナが着火せず異常を表 示する。	・燃料切れまたは燃料タン クのコックが閉じている。	・燃料の補給、コックを開 いてください。
	・燃料タンク及びストレー ナに水やゴミがたまって いる。 ・燃料ホース、継ぎ手から	・タンク内の水抜き、スト レーナの分解掃除をして ください。 (本機取扱説明書参照)
	空気が入っている。	配管の接合部をよくしめ つけてください。
	ない。 ・点火スパークが飛んでい	・お取引先に修理を依頼し てください。
	ない。	・お取引先に修理を依頼し てください。
着火するがすぐに消えて異 常を表示する。	・フレームロッドが燃焼筒 に接触している。	・お取引先に修理を依頼してください。
(10秒間着火を3回繰り返す)	・フレームロッドの不良。 ・フレームロッドのコード 断線。	
	・フレームロッドにカーボ ンが付着している。	
	・フレームロッド取付部に 湿ったほこりが付着して いる。	

-63 -

こんな時どうする(故障とその処置)

3.バーナ関係

異常の様子	原因	確認方法と処置
バーナが途中で消え、異常 内容が表示されている。ま た、火が着かない。	・燃料切れまたは燃料タン クのコックが閉じている。	・燃料の補給、コックを開 いてください。
	・燃料タンク及びストレー ナに水やゴミがたまって いる。	・タンク内の水抜き、スト レーナの分解掃除をして ください。 (本機取扱説明書参照)
	・燃料ホース、継ぎ手から 空気が入っている。	配管の接合部をよくしめつけてください。
	・水の混入により、バーナポンプの圧力低下で噴霧不良。	・お取引先に修理を依頼してください。
	・灯油がノズルから噴霧し ない。	
	・フレームロッドの絶縁不良。	
	・排風ダクトの曲がり、つぶれなどで抵抗が大きい。	・排風ダクトが排風の抵抗に ならない様にしてください。
		・排風ダクトのつぶれを 取ってください。
		・逆風が吹き込む場合は風 よけを設けてください。 (本機取扱説明書参照)
	・本体側面のフタ、横ホッパ、上カバー、掃除口が開いた状態で運転している。	・フタ、横ホッパ、上カバー、 掃除口が開いていないか 確認してください。
	・各センサ、センサコード が断線、またはショート している。	・表示部の異常内容を調べてください。
	・バーナの燃料制御に異常 が起こり、高温になった。	・お取引先に修理を依頼してください。
	・バーナモータの過負荷。	
	・バーナモータコードの断線。	
	・大きな揺れを感知した。	

こんな時どうする(故障とその処置)

3.バーナ関係

異常の様子	原因	確認方法と処置
バーナの燃焼炎の色が赤す ぎる。	・ノズルの目詰まり。・コントロールボックス内の 設定スイッチの位置が違う。	・お取引先に修理を依頼し てください。
	・燃料タンクの油面が高す ぎてバーナポンプに圧力 がかかり、流量が多くなっ ている。	

4.乾燥関係

異常の様子	原因	確認方法と処置
乾燥時間が長くかかる。	・乾燥前の水分が多い。	・適期刈り取りをしてください。
		・湿度90%以上の場合は穀物量設定を1.0ほど上に設定し、乾燥してください。
	・熱風温度が低すぎる。	・穀物量設定を覗窓数字に 合わせてください。
	・排風ダクトが長すぎる。または抵抗が大きく、風量が低下している。	・抵抗が掛からないように ダクトをまっすぐにして ください。
	・吸引ファンの回転数が低下している。	・お取引先に修理を依頼してください。
	・点検後、乾燥機の点検蓋 や掃除蓋が開いている。	・全ての蓋が閉まっている か確認してください。
	・排風ダクトの先に集塵機 が付いている。	・お取引先に相談してください。
	・排風ダクトの先の集塵室 の通気孔が小さい。	・お取引先に相談してください。

こんな時どうする(故障とその処置)

4.乾燥関係

異常の様子	原因	確認方法と処置
胴割れ米が多い。	・乾燥前に脱ぶ、半脱ぶ籾が 多い。 ・圃場胴割れ米がある。	・刈り取り適期とコンバインの回転数に注意し乾燥速度をややおそいまたはおそいに設定してゆっくり乾燥してください。
	・乾燥時間が早い。	・乾燥速度をややおそい、 またはおそいに設定して ゆっくり乾燥してください。
	・乾燥前の穀物の水分のば らつきが大きい。	・二段乾燥作業で調質乾燥してください。
	・昼夜の外気温度差がありすぎる。	・乾燥速度をややおそい、 またはおそいに設定して ゆっくり乾燥してください。
	・空気が乾燥している。	・気温が 30℃以上で、湿度 50%以下の場合は、張込後 の数時間は穀物量設定を 最低 (1以下) に設定し、タ イマー乾燥を行うまたは、 循環通風のみ行ってくだ さい。その後、通常の乾燥 作業を行ってください。
	・乾燥後の処理が悪い。	・乾燥終了後は急激に冷や したり、湿気をあてるこ とは避けてください。

こんな時どうする(故障とその処置)

4.乾燥関係

異常の様子	原因	確認方法と処置
過乾燥になる。	・乾燥前の穀物の水分差が 大きい。	・二段乾燥作業で調質乾燥 してください。
	・青米、未熟米が多い。	・乾燥速度をややおそい、
	・穀物種類 (水分値補正) 停 止水分の設定が間違って	またはおそいに設定して ゆっくり乾燥してください。
	いる。 ・お手持ちの水分計の特度	・検査用水分計で確認して 設定してください。
	・お手持ちの水分計の精度が出ていない。	・電池などを確認してくだ さい。
	・お手持ちの水分計で測定 するサンプル数が少ない。	・水分値の確認と補正方法 はP29、P52を参照してく ださい。
乾燥ムラになる。	・乾燥前の穀物の水分差が 大きい。	・二段乾燥作業で調質乾燥してください。
		・水分差がある籾 (麦) を混 ぜないでください。
	・何らかの原因でロータリ バルブが回らない。	・お取引先に修理を依頼してください。
	ワラ屑、ゴミなどが多すぎて乾燥部に停留している。	・コンバインの選別調整を してください。
	・高水分小麦を張込んだた め、乾燥機内に張り付きが 出た。	・適期刈り取りをしてください。
		・雨上がり直後の刈り取り をしないでください。
		・張込後は、すぐに乾燥してください。
		・張込んだままで放置しな いでください。

MEMO	

☆大島農機株式会社

営 業 部 〒943-0892 新潟県上越市寺町3丁目10番17号 ☎(025)522-5012 FAX(025)522-5023

東北営業所 〒990-2482 山形市久保田1丁目1番地2 ☎(023)644-4748 FAX(023)644-4749 関東営業所 〒346-0027 埼玉県久喜市大字除堀493 ☎(0480)21-2831 FAX(0480)21-2855 新潟営業所 〒943-0892 新潟県上越市寺町3丁目10番17号 ☎(025)524-1416 FAX(025)526-1560 北陸営業所 〒921-8051 金沢市黒田1丁目210番地 ☎(076)240-0115 FAX(076)240-1621 名古屋営業所 〒486-0817 愛知県春日井市東野町1丁目2番9 ☎(0568)81-3201 FAX(0568)81-4232 岡山営業所 〒701-0304 岡山県都窪郡早島町早島2996-1-10 ☎(086)480-1133 FAX(086)483-1110 九州駐在所 〒838-0068 福岡県朝倉市甘木2111-1 ☎(0946)21-7280 FAX(0946)21-7281 北海道出張所 〒079-8412 旭川市永山2条12丁目2-23 ☎(0166)47-1811 FAX(0166)48-8148

ホームページアドレス URL…http://www.oshimanoki.com/

582Z0014000-202406

型式名 RC25-55